

第29回

【地域別】

市民と市長のタウンミーティング 報告書



○期 日 平成 22 年 2 月 11 日

○会 場 吉祥寺北コミュニティセンター

武 蔵 野 市

まえがき

武蔵野市では、市民が自らのまちを自らの手で創りあげていく市民自治の基本に立ち、市民と行政が一緒にまちづくりを進めていくプロセスを大切にしたいと考えています。

そのひとつの手法として、市民と行政が「同じ目線」「双方向」で、地域の課題や市政全般について率直に意見交換を行う場として、「市民と市長のタウンミーティング」を開催しています。

この会には、地域のまちづくりの拠点であるコミュニティセンターを会場として、市とコミュニティ協議会が企画・運営方法を協議し、協働して実施する「地域別タウンミーティング」、テーマを設定して、そのテーマの関連団体にご協力をいただきながら実施する「テーマ別タウンミーティング」、そしてテーマを決めずに実施する「青空タウンミーティング」がございます。

平成18年からの2年間で、すべてのコミュニティ協議会との共催により、「地域別タウンミーティング」を計16回開催しました。その後、「商店街の振興」「災害に強いまちづくり」「地域で支えあう福祉のまちづくり」「市民協働で育むまちづくり」をテーマとしたタウンミーティングを計6回、地域別の2巡目のタウンミーティングを計4回、屋外での青空タウンミーティングを計2回開催いたしました。

今回は、吉祥寺北コミュニティ協議会との共催により、「第29回市民と市長のタウンミーティング」を開催しましたので、その結果を報告いたします。

今後も、市内の様々な場所で、タウンミーティングを開催していくことにより、さらに多くの意見交換を行ってまいります。

武蔵野市長

邑上守正

概 要

1. 日 時 平成22年2月11日（祝・木）
午後1時30分～4時
2. 場 所 吉祥寺北コミュニティセンター
3. 主 催 武蔵野市
吉祥寺北コミュニティ協議会
4. 参加者数 75人
5. 主催側出席者 市 長 邑上 守正
吉祥寺北コミュニティ協議会 委員長 橘 弘之
企画政策室長 南條 和行
防災安全部長 堀井 建次
都市整備部建設調整担当参事 笠原 篤
6. 司 会 吉祥寺北コミュニティ協議会 副委員長 福井 遼一
市民協働推進課 市民相談担当課長 大杉 由加利
7. テ ー マ
 - ・災害に強いまちづくり
 - ・これからも住み続けるために 吉祥寺北町

目 次

1. 発言の要旨.....	1
(1) 開会のあいさつ	1
(2) 第1部「災害に強いまちづくり」をテーマにした意見交換(要旨).....	2
1. 下水道総合計画と吉祥寺北町地区の大型貯水槽について.....	2
2. 災害時の要援護者支援と北町保育園の水害対策について.....	3
3. 吉祥寺北町地区の水害対策について.....	4
4. 市内に設置している消火器について.....	4
5. 北町保育園の水害対策について.....	5
6. 水害対策に関する施設の整備について.....	6
7. 雨水対策について.....	6
8. 学童クラブの土曜開所について.....	7
(3) 第2部「これからも住み続けるために 吉祥寺北町」をテーマにした 意見交換(要旨)	8
1. 自転車のマナー対策について.....	8
2. 保護者へのメール配信について.....	9
3. 子どもプランにおける学童クラブの取り扱いについて.....	9
4. 子どもの教育と吉祥寺のまちの雰囲気について.....	10
5. 自転車のルールと子育て支援について.....	12
6. 高齢者施策の充実と コミュニティセンターの申し込み方法について	13
7. 情報の共有と公募委員について.....	13
8. タウンミーティングについて.....	14
9. ムーバスの路線と避難道路について.....	15
10. 高齢者施設の充実について.....	16
11. 吉祥寺の南北誘導路について.....	16
(4) 閉会のあいさつ	18
2. 当日いただいたご意見と市の回答・対応方針.....	19
3. アンケートでいただいた感想.....	32

4. 前回のタウンミーティング（第3回 平成18年4月7日）での 主なご意見とその後の進捗状況.....	33
---	----

— 付属資料 —

第29回「市民と市長のタウンミーティング」ちらし

1. 発言の要旨

(1) 開会のあいさつ

【市長】

皆様、こんにちは。暦の上では立春を過ぎましたが、まだまだ寒い日が続きます。

さて本日は、第 29 回「市民と市長のタウンミーティング」にお越しいただきありがとうございました。また、この会は、協議会の皆様との共催です。本日は協議会の皆様、どうもありがとうございます。

思えば、吉祥寺北コミュニティセンターでの開催は、今から 4 年前になります。そのときにいただいたご意見、いくつかの点はまだ積み残しがありますが、多くのご意見は市政にも反映をしてきました。しかし、課題は日々増えています。今日は 2 時間半の時間ですが、ぜひ多くの皆様から、様々な課題や提案を直接お聴きしたいと思います。私の姿勢は、市民の皆様の意見を聞き放しにしないということですので、何らかの形でそれに応えていきたいと思っています。

様々なご意見をお伺いし、そしてまた皆様にもお願いすることが多々あろうかと思いますが、ともに力をあわせて、いい地域づくり、そして、いい武蔵野のまちづくりを進めていきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。



【吉祥寺北コミュニティ協議会 橋 弘之 委員長】

皆様、こんにちは。今日は、市と吉祥寺北コミュニティ協議会との共催でタウンミーティングを開催することになりました。どうぞよろしく願いいたします。

今日は、「災害に強いまちづくり」と「これからも住み続けるために 吉祥寺北町」をテーマに、話を進めていきます。

ここで、皆様をお願いしたいことは、住民として、行政、市長に一方的にお願いするだけではなく、ここに住んでいる人間、住民として、このまちを良くしていくために、我々も何かできないだろうかという考えを、ぜひ持っていただきたいということです。もちろん行政、市にしてもらわなければいけないことはたくさんありますが、住民と行政が力をあわせて、いいまちづくりをしていくということが一番大事なことだと思っていますので、多彩なご意見をいただければと思います。どうぞよろしく願いいたします。



※以下、33～47 ページの「前回のタウンミーティング（第 3 回）での主なご意見とその後の進捗状況」の中から、代表的なものを抜粋して、市長が報告しました。

(2) 第 1 部「災害に強いまちづくり」をテーマにした意見交換（要旨）

1. 下水道総合計画と吉祥寺北町地区の大型貯水槽について

【ご意見】

北町に住んでいる。先ほど市長からも説明があったが、二度にわたって下水道総合計画の説明をしていただいた。この総合計画の前提には野川の処理場の新設、それから外郭環状道路建設の際に造られる大型の下水道と、外部の要因がたくさんあるので、都に対して共同推進をぜひ要請をしてほしい。

それから、短期下水道計画として、公立の学校等には浸透施設がかなり設置されているが、私立学校についてはどうなっているのか（例えば、成蹊学園など）。

あと、北町の防災公園とか北町地区に大型の貯留槽ができるよううわさがあるが、それについても聞きたい。

【市長】



担当から、皆様に下水道総合計画を説明いたしました。下水道は、市だけでは完結できませんので、東京都にも様々な下水道整備を要請しなければいけないと思います。同時に、なるべくそういう水はこの地域から流さない、さすがに家庭の雑排水を止めるわけにはいきませんから、雨水はなるべく地面の中にしみ込ませていくことを考えています。そしてこれは、この地域の水害対策にもつながります。

この地域での水害の原因というのは、やはり下水管がオーバーフローするためで、下水管を整備するだけでなく、降った雨をそれぞれの地域から流していかないという取り組みが大切だと考えています。

雨水貯留施設については、この地域では第四小学校の校庭に最初に設置しており、市の公共施設で設置可能な所は、順次、大型の貯留施設を設けており、現在、合計で 4,800 トンの容量がございます。

しかし、まだ足りません。全市域的に見ると、道路面は完全に舗装されているので、雨が降ると下水に流れていきます。これを水がしみ込むような工夫をし、今後は、住宅地内の舗装は浸透性のものに変えていこうという取り組みです。道路の問題は、かなり重要であります。市域面積のうち、道路面積は約 15%ありますから、この取り組みが進めば、雨水はかなり下水に流れないと思います。

あと、最大の敷地というのは皆様の敷地です。それぞれのご家庭に雨水浸透施設を設置していただければ、地面にしみ込ませることが出来ます。一軒一軒の取り組みが、極めて大きな効果を呼びます。設置の補助もしていますので、ぜひ協力をいただき、雨水の循環をこの地域で実現していきたいと思っております。

市立の小・中学校の校庭への大型の雨水貯留施設の設置については、順次進めていますが、私立学校へは、現時点では直接的な補助をしていません。今後の市内小・中学校での成果を踏まえ、もし経費の面で大変厳しいということであれば、今後の課題として考えていきたい

と思います。

この地域で最大の敷地は成蹊学園の 30ha ですので、ここでの取り組みというのは、極めて効果が高くなります。市からの呼びかけもあり、このたび成蹊学園のグラウンド、21,000 m² の人工芝のトラック・インフィールドに、透水性・保水性の舗装を入れていただきました。このような私立学校での取り組みを他の学校等にも紹介し、広い敷地では、なるべく大型の貯留施設を設置していただきたいと思います。

3 点目についての北町の大型の貯留槽の設置ですが、現状でも足りない状況であると思っています。4 年半前の水害で、この地域が浸水しましたので、こういう一番低いところに貯留施設を設けるのも大きな効果があると思っています。現在、この地域で大型の施設の設置について、研究を進めているところです。

2. 災害時の要援護者支援と北町保育園の水害対策について

【ご意見】

北町に住んでいる。四小地区福祉の会で活動している。避難所のことについて伺いたい。以前の水害で水没した近くにも、多くの要支援の方がいる。今度市と共同で、災害時の支援を平成 22 年度から受けることになっている。今後、地域の拠点になるコミュニティセンターが、災害のときにはどのような位置づけで、私たちの避難に協働でやっていただけるのか、市長からお聞きしたい。

それから、前回市長に伺ったとき、保育園の水没について検討するといっていたが、その後の保育園の検討はどうなっているのか、教えてほしい。

【市長】

今、ご紹介いただきましたが、市では、災害時要援護者対策事業を行っています。例えば、地震のとき、ひとりでお住まいの高齢者の皆様、お体の不自由な方というのは、避難することはなかなかできませんので、その方の安否をまずは地域で確認していただき、必要な支援をしていただくという取り組みです。市内では地域社協の皆様にご協力いただき、現在、13 地域の中



で 10 の地域で取り組みを進めています。まだ完全に体制ができたところはわずかですが、お体の不自由に方でご希望される方や高齢者の方でご同意される方には、その方を見守る支援者を例えば 2 人ずつ決めていただいています。

四小地区においても、支援が必要な方をリストアップして、呼びかけを行い、ご希望またはご同意いただければ、支援者を 2 名ずつ以上探していただくことなどを予定しています。支援者探しがなかなか難しいと地域でも言われていますので、ぜひ皆様には協力のほどお願いいたします。

避難所の件ですが、市では、基本的には 20 の公立小・中・高校を避難所として開設することになっています。市が初動要員としてその避難所を開設し、以降は条件の整ったところから、地域の皆様に運営をご協力いただくことになっています。

さらに、福祉的な面から二次的な避難所として、高齢者の様々な福祉施設を利用いただくことを考えていますが、コミセンについては具体的にはまだ位置づけがございません。これについては、今後の様々な地域の防災の活動の中でご議論いただきたいと思います。あまり多くなり過ぎても、市の支援がなかなか難しい面がありますので、今は 20 の避難所の開設支援を徹底していき、その他の施設については、皆様からいろいろなご提案いただき、考えていきたいと思っています。

北町保育園については、あの場所がふさわしいかどうかも含めて議論しています。同時進行で、保育園の移転の可能性と大型の雨水貯留施設の設置の可能性を研究しています。土地の問題とか様々な課題があり、もう少しお待ちいただきたいと思います。

【司 会】



市の防災マップがテーブルの上にありますので、お帰りの際にお持ちください。北コミセンも、何かのときは、力仕事などお手伝いすることが発生した場合には、積極的に参加したいと考えています。

3. 吉祥寺北町地区の水害対策について

【ご意見】

北町に住んでいる。今日は保育園のところで貯水槽システムを強くお願いしようと思ってきたが、先程の言葉を聞いて、意を強くしている。

以前の被害では、48 軒の北町地区の床上、そして数十軒の床下浸水と、膨大な被害を受けた。いろいろお願いをした後、浸透柵設置等対応しているようで大変ありがたく思うが、現状の話がどなたからもないので、施設面でのお願いもあわせて言わせていただきたい。

毎年、特に 6 月、9 月には、保育園の路面の水位が数十 cm 前後、集中豪雨になると 70 cm 近く上がる。当然ながら床上すれすれのお宅が何十軒かになるが、ややあきらめ気味になっている。それが非常に怖い。我々は毎年 3・4 回、非常に戦々恐々と集中豪雨に祟られている。

その辺をお考えいただき、ソフトの面はもう十分やっつけているので、ぜひハード面について、しっかりと我々の現状を踏まえて、早急に対応していただきたい。

【市 長】

先程お答えしましたとおり、具体的にその可能性を議論しています。用地など難しい問題もありますが、なるべく早急にそれが実現するよう努力していきたいと思っています。

4. 市内に設置している消火器について

【ご意見】

北町に住んでいる。防災推進員として、毎月、消火器の点検が一番大きな仕事である。

去年、家の建て替えがあり、いつの間にか消火器がなくなっていたので、備考欄に、ナンバーのいくついくつ、何丁目の消火器がありませんということを報告した。その後、防災の係に話したとき、設置についてこれから検討しますという段階であった。その後しばらくたって、全然違う場所に新しい消火器が設置されていたので、また備考欄に、新しい消火器が

ありびっくりしたと報告した。

防災推進員は、防災課からこの何戸分の消火器を点検するように言われているのに、依頼されている者が、なくなった、設置してあったと報告するのは逆ではないか。

もう一言、新しく設置された場所が、元の場所にとても近いところにある。1つの道路の面に4カ所もあったり、逆に全然なかったりというように、もう少し検討した方がいいのではないか。推進員に相談するなり、係が道をよく歩いて、均等に置いた方が効力があるのではないか。

【市長】

防災推進員のご活動、本当にありがとうございます。多分、いろいろな行き違いがあったかもしれませんが、再度、役所に戻りまして、その辺をもう一回確認をいたします。基本的には、消火器の場所を変えれば、それを点検いただいている皆さんには、当然のことながらご連絡するべきと思います。設置の方法についてはいろいろありますので、防災安全部長からお話します。

【防災安全部長】

いつも点検していただき、ありがとうございます。消火器は、大体道路 60m 間隔に 1 本の目安で、現在市内に 1,500 本ぐらいを設置しています。いたずらが多く、つい先日は井の頭通りで、500m の間の 4 本の消火器が全部、ボックスごと壊されるというケースがありました。

それでは、設置しなくていいのかというと、先日、他の区で火事があり、近くの街頭設置消火器が 1 カ月で 7 回いたずらをされたため撤去した直後で、その家の方が消火器を探している間に、奥さんと助けに行ったご主人が被害にあうというケースもありましたので、推進員の皆様からご報告いただければ、すぐに補充等を行います。

設置については、ご自宅を使っていいよという方はなかなかございません。推進員の皆様が地域の方との連携の中で、このお宅は設置していいですよという情報をいただければ、なるべく近いところに設置をしていきたいと思えます。

また、ご意見等ございましたらご連絡いただき、一緒に事業を進めていきたいと思えますので、よろしく願いいたします。

5. 北町保育園の水害対策について

【ご意見】

北町に住んでいる。北町在住なので、水没というのが非常に問題である。先程おっしゃられた方もいたが、保育園の場所を変えて貯水槽を造るという計画があるが、もう 4 年もたっている。自分のことを言うと、北町に住んでいて、かつ保育園に子どもが通っていて、雨が降ると、昼も夜も水没について悩まなければいけない。

極めて具体的に、言いづらいとは思いますが、何年ぐらいを予定しているか、できる範囲で教えてほしい。



【市長】

まだ具体的には決まっていますが、現在、その可能性を研究をしていますので、問題点がクリアできれば、そんなに遠い話ではないと考えています。

ただもうひとつは、現在、例えば待機児解消なども含め、保育園全体として、運営主体の見直しという課題もあります。保育園の課題や水害の対策については、あわせて考えていますので、うまく段取りが進めば、遠い将来のことではないとご理解いただきたいと思います。

【ご意見】

両方に関わっているのだから、住民として、保育園の保護者として、何か動きがあるときは、必ずわかりやすい方法で告知してほしい。

【市長】

市民の方が、ずっと住み続けられるようなまちづくりをめざしてまいりますので、どうぞ安心してお住まいいただきたいと思います。

6. 水害対策に関する施設の整備について

【ご意見】



施設の規模等は、専門の方々が十分計算しているのだから、安心しているが、先程の繰り返しになるが、春から秋にかけて、特に夜中に警報が出ると寝られない。さらに今年は警報が出る前に、既に水が 20cm、30cm と上がってきている。直接床下、床上の被害を受けた者は、そういう思いに悩まされている。

とにかく基本的なものは安心で安眠である。安心・安全というより、安心・安眠だ。くどいようだが、我々住民の思いを汲み取って、施設を考えてほしい。

【市長】

おっしゃるとおり、地域の皆様は不安を抱えられていると思います。ソフトの面は、今までずっと行ってきましたし、気象予報についても、極めて地域的なピンポイントの予報を基に、市の態勢も強化しています。市の防災の職員全員も、私も、何かあると携帯に連絡が入ります。夜中でも、私の枕元の携帯が鳴ると、何かあったのかなと。市の職員も常に緊張感を持って対応していますので、ソフトの面では可能な範囲で取り組んでいます。

しかし、ソフト面だけではカバーできませんので、ハードの面もきちんとしていかなければいけないと思います。先程からのご質問にある設備・設置につきましては、かなり前向きに検討していくということをご理解いただきたいと思います。

7. 雨水対策について

【ご意見】

北町に住んでいる。4年半前にこの地下が水没して以来、ちょっと雨が降ると、気になって、空を見る。そして、警報が出るとびくびくしながら一晩過ごすこともある。

最近、浸透枳など対応していただいた。もし4年前の状態が、日中にあった場合、隣のお

年寄りの方、それから子どもたちがたくさんいて、どういうふうに避難をするのかを考えると、ぞっとする。

保育園と北コミセンが一对になって、どこかに移転するような対策を組んでいけないものか。それが予算的にできないなら、この前の道のところに直径3メートルぐらいの土管を造って、そこに雨水専門の吸水口をつくれば、かなりの雨がそこに入る。ある程度収まったら、今度はそれを汲み出して、川のほうに流していけばいい。

【市長】

雨水を溜める方式としては、例えば都心の環状7号線の地下など、大型の下水管を埋める方法があります。全市的な課題として、雨水を溜めていく場合、この地域に集中した大型のものを設置した方がいいのではないかとということも含めて議論していますが、道路の開削工事も含め、費用が高額になるため、優先度としては低いと考えています。



8. 学童クラブの土曜開所について

【ご意見】

桜堤に住んでいる。学童クラブは、平成14年から土曜日は全部閉まっている。市からは、あそべえを利用してくださいと説明を受けている。学童クラブは本来、親が働きに行っている間、家の代わりに過ごす場所であるが、あそべえは遊び場所であり、公園に近い。そうすると、土曜日は、子どもにとっては家がなくなり、公園に1日いなさいという意味合いになってしまうところがある。

学童クラブは、500世帯ほどが利用しているが、そのうちの2割か3割の人が土曜日は働いており、苦勞している。ぜひ早期に毎週全部の学童クラブが開き、みんなが土曜日を安心して過ごせるような形にしていただきたい。それによって、皆さんも働きに出やすくなり、また子育てもやりやすくなり、そこから地域のつながりもつくりやすくなると思っている。

【市長】

今の話は、今日のテーマに関連するものだとよかったですと思いますが、せっかく遠くから来られましたので、若干説明します。子どもプランの中では、そういう要望も踏まえて、これから土曜日の開所について検討していくことを盛り込む予定です。来年度、具体的な検討を進めていきますが、また皆様とさまざまな課題については、意見交換していきたいと思えます。

(3) 第 2 部「これからも住み続けるために 吉祥寺北町」をテーマにした意見交換 (要旨)

1. 自転車のマナー対策について

【ご意見】

北町に住んでいる。今日初めて来た。自転車の事故について、日々考えるようになったのは、母親の骨折と入院である。階段から転んでけがをし、現在もリハビリのため毎週 1 回程度、病院に通っているが、2人で歩いていると、右から左から後ろから前から、自転車が次々とやってくる。大変難しい問題だが、2つほど、こんなことができないか申し上げたい。

ひとつは、市はムーブスを導入し、お年寄りが自立して歩ける、やさしいまちのシンボルとしているが、そのムーブスのバス停とバス停をつなぐ道、導線がつながっていない。例えば、商店街も自転車を押さなければ通れないとか、行政だけでは出来ないが、いくつかの商店街と連携して行い、また、商店街毎にどの商店街が一番ふさわしいか表彰するなど、啓蒙できるのではないかな。

もうひとつ、病院では高齢者の方が日々リハビリしているが、そういうところを学校教育として見学すると、自転車を乗る側、特に若い人も気をつけるようになるのではないかな。いろいろな人たちに呼びかけて、自転車は危険だということを、総合的に、各担当課の垣根を越えて伝えていってほしい。

最後に、母の入院のことで感謝申し上げたい。母が入院して途方に暮れていたとき、高齢者支援課に電話したところ、親切に対応していただき、また直接会っての相談にも親身に対応していただき、大変感謝している。今日は、お礼を申し上げたくてこちらに伺った。

【市長】



市では自転車の事故が多く、交通事故数の半分が自転車に関係するとのこと。これは公になった件数ですから、日々の接触なども含めると、自転車が起こす事故、危険性は極めて高いと思います。

一方で、全体的に交通事故が減っていますが、その中でも自転車事故の割合は、依然として過半数を占めています。より一層、安全な乗り方を皆様にご理解いただきたいと思います。

先程、その後の進捗状況で少し説明しましたが、市では、自転車安全利用講習会を行っており、受講者には認定書を差し上げています。これを持つことは、自分で安全運転を宣言することになります。

講習会に参加する方のメリットとして、講習会を受けると、登録駐輪場を優先利用できるようにしています。将来は、受講しないと市の駐輪場は利用できません、というぐらいにしていきたいと思います。

ですから、まずはマナーアップというのが極めて必要だと思います。ご提案のとおり、それを地域ぐるみでもっと積極的に取り組むということも、いいのではないかと思います。

ご提案いただいた、「私の商店街はバリアフリーナンバーワン」とか、「安全な商店街ですのでぜひ来てください」とか、商店街が駐輪場の確保や安全対策を進めていけば、これは商店街の売りになります。自転車の走行場所を決めたり、通行止めにしたたりすることも含めて、積極的に商店街にも伝えていきたいと思えます。

二番目のご意見ですが、今、中学 2 年生では職場体験として、例えば、各福祉施設で職場体験するというのも行っています。そういう現場を見せるということも、教育の一環として大切ですので、これも続けていきたいと思えます。

最後に、高齢者福祉は、それぞれの皆様のご要望にかなうよう、様々な支援をしていきたいと思えます。まずは、電話でお問い合わせいただければ対応いたしますので、どうぞご活用いただきたいと思います。



自転車安全利用シンボルマーク

2. 保護者へのメール配信について

【ご意見】

北町に住んでいる。今日は子どもを持つ保護者の立場で参加した。

小・中学校単位でのメール配信をぜひお願いしたい。今年度、新型インフルエンザが流行し、急遽、午後が学級閉鎖になったとき、学校の連絡網は電話しかない。働いている保護者が大変多く、連絡がとりづらいため、子どもを帰宅させられないという状況が起きた。

不審者情報の速やかな情報の受け取りとか、大きな災害があったときは、学校単位で構わないので、メール配信をしてほしい。個人情報やセキュリティの問題など、保護者も考えなければいけない問題点もあるので、その辺は P T A でも保護者と議論しながら、市も足並みをそろえて進めてほしい。

【市長】

いろいろな情報はメールで行うのは当たり前の世界になっています。市の様々な災害対策や緊急連絡網は、すべてメールで行っていますが、学校では、情報機器の整備がちょっと遅れており、ようやく市内の小・中学校の先生にパソコンを 1 人 1 台ずつ配置するという段階です。教育委員会で研究していると聞いていますが、情報については極めて大きな課題ですので、もう少し取り組みを進めるよう伝えていきたいと思えます。

3. 子どもプランにおける学童クラブの取り扱いについて

【ご意見】

2 度目の発言になるが、まずお礼としては、子どもプランを非常によく考えていただき、安心している。学童クラブの土曜日開所はなかなか難しいという立場もわかっているが、このプランの中で、ぜひ考えてほしい。

【市長】

基本的に、学童クラブは授業終了後の児童を保護する目的ですので、土曜日が休みになっ

た時点で閉所しました。しかし、土曜日に働いている方もおられるので、あそべえという開放施設をつくり、そちらを利用していただくことにしました。

ただ、あそべえの様子を見ていると、あそこは基本的には子どもの遊び場所で、子どもたち1人1人を監護する、例えば健康状態を見たり、親に連絡をとるとか、そういう場所ではありません。その意味では、遊び場所になっているが、学童の代替機能としては極めて弱いということ認識しています。

私は、土曜日の子どもたちの過ごし方をきちんと議論していきたいと考えています。間もなく発表する子どもプランの中でも、来年度早々から、この問題について、具体的に議論をする会議を設置することを明記していますので、学童クラブの土曜日開所の意義も含めて、きちんとした議論のもとに、検討を進めていきたいと思えます。

現時点では、決して全面否定をしているわけではなく、物事を順番に解決していこうということで、ご理解いただきたいと思えます。

4. 子どもの教育と吉祥寺のまちの雰囲気について

【ご意見】

北町に住んでいる。もう 80 歳を過ぎているので、言うことがちょっと古いかもしれないが、お聞きいただきたい。若い人とのつながりとしては、市のシルバー人材センターの「竹の子補修教室」や剣道で子どもたちを教えており、それについての感想である。



子どもたちを見ていると、社会人教育というか、常識的モラルとか、そういうものが指導されているのかなと感じる。そういう点をぜひ考えてほしい。

それから、中学生の自転車の運転が怖い。そういう教育を本当に学校でやっているのか。

市の一般的な話だが、このまちは非常にいいまちだが、住宅地の東西の道路が、南北に比べてかなり整備されていない。すぐそこを見るとわかるが、かなりの交通量なので工夫できないのか。

あとは最近、百貨店が次々に撤退している。何か市として問題はありますか。税金なのか、土地代なのか、あるいは政策なのか。今の吉祥寺の雰囲気がかなり変わると思うので、その辺の事情を聞きたい。

【市長】

シルバー人材センターでもご活躍いただいているようですが、シルバー人材センターには、市報の全世帯配布など、いろいろな手伝いをいただいています。家の補修なども低価格で行っていますので、皆様もぜひご活用いただければと思えます。

そして、子どもの教育への大きな課題をいただきました。私は、教育現場は大変頑張っていると思えます。しかし、子どもの教育というのは学校だけでなく、家庭と学校が連携を持たないといけないと思えます。

ただ、家庭の力は以前のような状況ではありません。市は家庭の問題に踏み込みにくいのですが、もう少しサポートできるようなことも考えなければと思えます。

ここにおられる皆様には、地域の立場で、ぜひ子どもたちにいろいろなことをお伝えいただき、何か悪いことあれば、どうぞ叱っていただきたいと思います。そのあと、子どもたちは、あの時何か文句を言ってたおじさんとかいって慕ってきます。それが地域のコミュニケーションをよくして、子どもたちのいい成長につながっているのではないかと思います。

もちろん学校の課題もあります。校長先生との懇談会で、今日いただいた意見などもぶつけてみたいと思います。現場でも頑張っていただきたいし、地域でも、ぜひ子どもたちのためにお力添えをいただきたいと思います。

まちづくりの問題をいただきました。北町地区というのは、確かに南北の道はありますが、東西の道がなかなかありません。同じように東町も東西の道がありません。

住宅が建て詰まっており、新たに東西の道を設けるというのは難しい状況ですが、今後の課題としては、避難誘導的に東西にある一定区間の道路については、長期的なまちづくりという視点では考えていきたいと思います。

吉祥寺の問題、皆様大変心配されていることと思います。大型店というのは伊勢丹のことですが、3月14日に閉店します。これは伊勢丹自身の問題ですが、伊勢丹が吉祥寺にとって、非常にイメージを高める大きな百貨店であったことは間違いありません。



伊勢丹が入っているF&Fビルは、市の開発公社が大部分を持っている建物ですので、開発公社が、きちんとテナント誘致をしないとイケないと考えています。まだ発表に至る段階ではありませんが、私としては、伊勢丹に負けない、イメージのいい施設をつくって誘致してほしいと再三申し上げていますので、必ず皆様のご期待に応えるような施設になるのではないかと思います。吉祥寺や地域の商店街をこれからもご愛顧いただきたいと思います。

【ご意見】

東急についても悪いうわさが流れている。百貨店がなくなった途端に、吉祥寺のイメージが落ちる可能性があるのでは、非常に心配している。

もうひとつ、自転車の問題だが、若いお母さんからルールが崩れてる。PTAあたりで、お母さんの教育をぜひお願いしたい。

【市長】

日本の百貨店は、今厳しい状況になっています。新しい施設を見ると、ほとんどが専門店になっており、そういう業態の変化も仕方ないと思います。ただ、東急の撤退のうわさは、全くございません。

自転車の問題は、立場が変わればいろいろな意見があります。自転車利用がどうすればよくなるか委員会を開きましたが、参加した高校生や大学生からは、「私たちの中にも暴走する人がいるが、高齢者の方を含めて、ルールを知らない人が多い」という意見がありました。

私は、小学校の頃、学校で自転車講習会を受けた記憶がありますが、おそらく私以上の方は、学校で自転車講習会はなかったのではないかと思います。自転車は車と同じ扱いであり、これは全市民的な課題ですので、若い人から高齢者の方も含めて、皆様には改めて自転車のルールを学んでいただきたいと思います。

5. 自転車のルールと子育て支援について

【ご意見】

緑町に住んでいる。越してきて数カ月だが、自転車で住宅街を左側に走って、十字路を左に曲がろうとすると、右から走ってきた自転車と3回ぶつかりそうになった。昔、人は右、車は左と教わり、今も変わらないと思う。大抵若者だったが、やはり自転車のルールをしっかり守ってほしい。

それから、高齢者総合センターなどで、高齢者の催し物や行事があるが、すべて無料で、非常に大喜びで参加しているが、その都度、その費用を子ども2人抱えた娘が負担することを考えると、もっと教育の方に回したらいいのではと思う。娘の友達の話では、武蔵野は子育てするには苦しいから埼玉へ越すという方が2人ぐらいいて、高齢社会にはいいが、子育ての社会には武蔵野は合わないという話も聞いたので、その辺をよろしくお願ひしたい。

【市長】



自転車安全利用講習会

自転車の課題は、多くの皆様からいただきましたので、さらにルールの徹底を行い、講習会を受けないと駐輪場に止められませんとか、そういう厳しいことまで考えないといけないと思います。実は市内の駐輪場の利用者の半分近くは、他の自治体の方で、例えば武蔵境南口の駐輪場では、6割、7割ぐらいは三鷹市の方です。講習会は市外の方でも受講可能なので、周辺市の皆様にも協力いただいて、地域全体がこういう取り組みを進めていければと考えています。

高齢者福祉について評価をいただきましたが、いろいろな課題もいただきながら進めています。今、来年度の予算編成をしています。皆様は税金が増えているといわれますが、税収は増えていません。また、これから増えるかというところが難しいと思います。災害対策、水害対策についても、大きなお金が必要ですし、新たに市民の皆様の要望も受けますので、今までやってきた事業についても、見直しが必要になってきます。

来年度の予算編成では、いろいろな事業や補助金の見直しを進めており、様々な課題を解決するために、予算を振り分けているということをご理解いただきたいと思います。

子育て支援をもう少しということで、子育て支援策はもっと進めていきたいと考えています。国の方でも子ども手当という大きな取り組みを始めています。市の予算規模が570億円ぐらいですが、子ども手当の予算が、今年は半分で20億円ぐらいで、来年は40億円以上になります。せっかく国がこういう方針を打ち出しているのだから、ぜひご家庭で、子どものためにお使いいただきたいと思っています。

基本的に、現金支給は、国が国民に等しく行うサービスだと思いますので、市としては、様々な課題を解決するため、いろいろな支援をするなど、市ならではの施策を積み重ねていきたいと思っています。

先ほど埼玉に移られるというお話をいただきましたが、決して子育て支援策が埼玉に劣っているとは思っていません。残念ながら、この地域は家賃が高く、子どもが大きくなり、も

う少し広いところに移るとなると、この地域では難しいという課題もあります。なかなか行政としては解決できませんが、子育て支援策はこれからも充実していきますので、娘さんもぜひ武蔵野市に住み続けていただきたいと思います。

6. 高齢者施策の充実とコミュニティセンターの申し込み方法について

【ご意見】

北町に住んでいる。私も高齢者だが、市長は子育てに熱心で、高齢者に冷たいという話がしばしば聞かれる。最近、介護の問題に関心を持ち、デイケアセンターに行くと、人間が壊れていくときの怖さというものを痛感している。ぜひ高齢者の方に目を向けてほしい。

それから、コミセンの申し込みについて、区部ではインターネットでの申し込みになっている。申し込みで、寒いときでも1時間も立っていることがないように、ぜひインターネットでの申し込みを行ってほしい。杉並はもうインターネットで申し込みができる。

【市長】

決して高齢者の方を向いていないわけではありません。高齢者の皆様のご要望についても、制度を超えた様々な取り組みをしています。マニュアルどおりではなく、それぞれの方に必要な福祉を行っていくという姿勢ですので、これからもご要望をいただきたいと思います。

コミセンについては、基本的に他市区と違うのは、完全に地域の施設であり、多くの全市域的な利用施設ではないということをご理解いただきたいと思います。ただ、ご自宅でインターネットを通じて申し込みができるというのは、利便性からもいいことだと思います。おそらくコミュニティ研究連絡会の中でも、利用の予約についてはいろいろな課題が出ていると思いますので、そこで研究あるいは議論いただければと思います。

【司会】

私もコミセンの運営委員ですので、コミュニティ研究連絡会等で、今のご意見なども検討させていただきたいと思います。

7. 情報の共有と公募委員について

【ご意見】

八幡町に住んでいる。ここの地域ではないが、いくつか市長に聞いてほしいことがある。

八幡町地区にある武蔵野中央公園で、今工事をしている。都立公園なので市の管轄ではないが、工事が始まるまで全然知らなかった。周りの方に聞いても、知らないと。市の職員に何人か聞いても、ああ、工事やってますねという程度だった。公園のセンター長と話をした時、市や学校に伝えたか聞くと、それはしていない、ということだった。



都の施設ではあるが、市内にある、特に市民も含めて多く利用する公園なので、そういう情報は市がとってきて、地域にぜひ落としてほしい。都がやっているからとか、都に任せますとかではなく、これは我々の安全に係わってくることと思うので、情報をしっかりとって、ぜひ地域に、そして、そのことを知った部署は、関係のあるところに伝えてほしい。

あと、タウンミーティングで市民の意見を聴くのは、すごくうれしいところではあるが、公募委員を募集していると言ったときに、結局、利益誘導型の市民の方、要は受益者だったり、特に関係をされている方が、多く入ってくるというようなことも聞いたので、ぜひ無作為抽出の市民討議会というのを検討してほしい。

【市長】

武蔵野中央公園の工事の件は、私の認識としては、当然都は工事の話を周辺住民にしているものと思っていましたので、それがなかったら遺憾なことです。また、そういう情報について、担当の方もつかつたのかもかもしれません。もう一回その流れを確認してみたいと思います。

それから、公募市民で利益誘導型という意見がありましたが、私はそういう認識はありませんので、どういう人が利益誘導型なのか、きちんとお話をいただいたほうがいいかもしれません。しかし、多様な市民の方の声を聴くことは大切ですので、無作為抽出型のことも含めて、いろいろな方から意見をいただけるような場を工夫していきたいと思います。

8. タウンミーティングについて

【ご意見】

今回初めて出席した。定年して、やっと地域のことに興味を持ち始めた。先程、4年前にタウンミーティングがあったと聞いたが、4年に1回ではあまりにも期間が長過ぎるのではないか。1年に1回は無理でも、2年に1回ぐらいでないと、1つの出来事がどう動いているか、その間の流れが非常にわかりにくい状態になるのではないか。

また、団塊の世代の人たちがもう少し入って、地域ミーティングのようなところで、地域のひとつの大きな課題を話し、それを持ち上げてタウンミーティングの形にすると、また違った意味のミーティングになっていくのではないか。

【市長】



青空タウンミーティング

ありがとうございます。タウンミーティングも毎週できればいいのですが、原則、議会がない月に、年に7回行っています。平成18年から始めて、現在29回で合計2,500人ぐらいの方にご参加いただきました。コミセン単位とか、フリー、例えばこの前は「青空」タウンミーティングで吉祥寺の街中とか、あるいはテーマ別とか、多様なタウンミーティングを行っていますので、ぜひお出かけいただいて、いろいろな意見をいただきたいと思っています。

今日は北コミですが、先程から、桜堤や緑町から来られた方もおられます。この地域の方しかだめということではありませんので、都合のいいときに、ぜひお出かけいただいて、ご意見をいただきたいと思います。

そして、いいご提案をいただきました。タウンミーティングを開催するにあたって、地域の課題についていろいろ議論されて、そういうことを積み重ねて、タウンミーティングに

臨むという流れになってはいますが、それをもう少し広げたような形で、多くの皆様に事前の
会合にも出ていただけるようなことも、ひとつの工夫ではないかと思えます。

9. ムーバスの路線と避難道路について

【ご意見】

北町に住んでいる。北町には 65 歳以上の高齢者が 19% ぐらいいるということだが、これ
からも増えていくと思う。北西回りのムーバスだが、1 時間に 1 本ぐらいは、市役所のほう
に回ってもらえないか。というのも、出張所がある商工会館に行くのに、ムーバスに乗って
いくが、練馬寄りの方は、どちらに行くにも遠い。歩いていくのも遠い。自転車も、危険な
ところもあるので、1 時間に 1 本ぐらい、循環していただきたい。

それからもう一点、四小地区が一時避難所で、成蹊も避難場所になっている。長年の課題
になっているが、北コミから保育園を過ぎると突き当たりになり、その脇に避難道路がある。
成蹊の方に入っていく細い道だが、あの避難道路では災害になったとき、ちょっと狭過ぎる。
もうそろそろ結果が出てもいいのではないか。

【市長】

まずムーバスですが、開催した多くのタウンミーティングの中で、自分の地域と市役所を
結ぶ路線をつくってほしいと言われます。確かに市役所というのは中央部の北にありますの
で、バスを乗り継ぐか、電車に乗るしか手段がありません。

ムーバスの目的は、地域と駅を結ぼうということでスタートし、今年で 15 年になります。
ただ、初めは高齢者の皆様の足としてご利用いただきたいという目的でしたが、今は、全て
の市民の方の足になっており、当初の目的を超える機能も持っているのではないかと思いま
す。

ムーバスの路線は、バスの路線の空白地帯をなくそ
うということで設置しており、ほぼそれが解決しまし
たので、基本的には新規路線を設ける予定はございま
せん。ただ、ムーバスの目的をもう一度整理をして、
どのような交通手段が地域にとって必要なのか、これ
は大きな研究課題だと考えています。



ムーバス

あわせて、ムーバスの路線も、一部見直したほうが
いいんじゃないかという声も出ています。例えば、境は高架になって踏切がなくなりました
ので、南北を別々に運行せず、もう少し連携できるのではないかというご意見もあり、それ
はもっともだと思えます。様々な交通事情の改編と、公共施設や福祉施設も、この 10 年間に
いろいろとつくられましたので、それを結ぶような新たな考え方も必要ではないかと思いま
す。

ムーバスのあり方については、議論を始めていますので、その行方を見守っていただきた
いと思いますが、基本的には、これ以上ムーバスを増やす考え方ではないことをご理解くだ
さい。

武蔵野市は、とてもコンパクトなまちです。こういう狭い地域に駅が 3 つもあり、駅から

2km圏内に全部入ります。普通の方であれば、20分、25分で駅まで歩ける距離なので、自転車と言わず、歩いていただくとよいのではないかと思います。もちろん、高齢者の方、あるいは弱者の方に対して、どうやって移動を支援するか、これからも議論していきたいと思えます。

避難路については、あそこは住宅が密集しており、なかなか拡張は難しいと考えています。この地域については、基本的には四小が一時集合場所避難所、成蹊は広域避難場所としています。今のところ充足してはいますが、課題については把握し、整理したいと思います。

10. 高齢者施設の充実について

【ご意見】

北町に住んでいる。今日初めて伺った。私たちは80代の夫婦2人の生活をしており、おかげさまで、お昼にときどきナーシングホームに行って、食事をおいしくいただき、他を回って帰ってくるという気持ちのいい生活をしている。いくつかテンミリオンハウスができていようだが、私たちはシャイなので、なかなかごめんくださいといって出かけられないでいる。

娘が神奈川にいるが、あそこは老人のためにとても立派な施設ができていて、そこで食事もできれば、お正月になると家族が集まって食事をしたり、とても理想的なことを伺っている。老人が気持ちよく食事もできたりするような大きな施設ができてほしい。

【市長】



ありがとうございます。テンミリオンハウスでは食事ができますが、人数の制限がございますので、どうぞ遠慮なさらずに、事前にご予約いただき、お出かけいただきたいと思えます。また、市内の福祉施設の中でも、昼食をサービスをしている施設がありますので、そういうところもぜひ巡って、楽しんでいただきたいと思います。

これから大きな施設をつくる予定は、今のところございませんが、桜堤に大型の特別養護老人ホームを5月に開設する予定で、そこは市内最大の施設になります。地域とのコミュニケーションの施設として、開放的な空間もありますので、ぜひお出かけいただきたいと思えます。

11. 吉祥寺の南北誘導路について

【ご意見】

北町に住んでいる。吉祥寺駅が、現在大改修しており、南北の融合がもっとできるかと思うが、南北の誘導路などはどういうふうになるのか。

【市長】

吉祥寺では、今、様々なまちづくりがスタートしています。先程、伊勢丹の話をしました。吉祥寺駅自体も、今これから改修が始まります。

ひとつは、吉祥寺駅には、現在大きな改札口は1階部分にあります。これを2階に全部

まとめて、井の頭線の改札口とJRの改札口が外でつながるような形になります。1階部分は、16mの幅で整備して、南北の通り抜けをよくします。

また、吉祥寺という、駅のホームまで上がるのに、現在エレベーターがありませんが、駅のバリアフリー化に向け、この工事と合わせて設置することになっています。

あと、ユザワヤが入っているビルは、建て替えになります。ユザワヤは、丸井に一時移転をして、建物が完成したら戻ってくるという予定です。

これから大きく吉祥寺が動いていきますが、いろいろなところで工事があり、吉祥寺に来たはいいけれども、店はやってないじゃないかと思われると困りますので、市としても、この間何か支援ができないかと考えています。現在、いろいろなイベントなどを考えていますので、ご期待いただきたいと思います。



(4) 閉会のあいさつ

【吉祥寺北コミュニティ協議会 橋 弘之 委員長】



皆様、長時間いろいろなご意見ありがとうございました。本日の2つのテーマから大きく外れることなく、本当に真剣なご意見をいただきまして、皆様自身が共通の認識を持たれたと思います。

市でいろいろ検討していただくことも多いと思いますが、ぜひ適切に実行していただき、よりよいまちづくりに資すれば、私たちもこの会を実施した甲斐があったかと思えますので、どうぞよろしくお願いいたします。

本日はどうもありがとうございました。

【市長】

たくさんの意見をいただきまして、ありがとうございました。なかなかすぐには解決できない課題もありますが、私のテーマは、皆様が住み慣れた地域で、いつまでも安心して住み続けることができるようなまちづくりをしていきたいと考えていますので、北町の課題である水害対策についても、これから、より一層力をかけていきたいと思えます。



そして、先程、お答えし損ねましたが、今、タウンミーティングのバージョンアップを考えています。出前型のタウンミーティングとして、要望があったいろいろな地域の団体にこちらから行こうということを検討しています。ぜひ、グループでも構いませんので、意見交換したいということがあれば、ご要望いただきたいと思います。

市では2月23日から本会議がスタートいたします。本会議では、来年度の予算案の発表と、施政方針を述べますので、ぜひ市議会定例会にもご注目いただきたいと思います。

最近、傍聴が少ないですが、インターネット中継もごございますので、ご覧いただきたいと思います。

そして、議会の様子も見ていただきながら、様々なことを感じられると思えますので、こういうタウンミーティングをはじめとして、様々な場面でぜひお声を聞かせていただきたいと思います。皆様のお声を聴くのが、市民参加の第一歩だと考えています。

私は市民の皆様とともに、いいまちづくり、参加型の市政運営、市民のためのまちづくりを進めていきたいと思えますので、今後ともどうぞご協力のほど、よろしくお願いいたします。

本日は誠にありがとうございました。

2. 当日いただいたご意見と市の回答・対応方針 (※アンケートでいただいたご意見も含まれます)

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
1	衛生管理	平成22年1月18日、杉並区内の幼稚園の餅つき大会で、ノロウィルスに因る食中毒が発生した。市内でもこのような事故が発生しない様、他山の石としたい。	すべての市民の健康の基礎に「食」の問題があります。健康を維持・増進するためには、栄養、安全性、環境等の視点から「食」について考え、行動する習慣を身につける必要があります。6月の食育月間等に、市報やホームページにおいて食中毒に対する普及啓発を行っています。
2		私も高齢者だが、市長は子育てに熱心で、高齢者に冷たいという話がしばしば聞かれる。最近、介護の問題に関心を持ち、デイケアセンターに行くと、人間が壊れていくときの怖さというものを痛感している。ぜひ高齢者の方に目を向けてほしい。	市では、子育て施策だけでなく、高齢者施策についても充実を図っています。平成22年度の重点的な高齢者施策としては、介護保険施設の整備と家族介護支援事業の充実を図ります。具体的には、今年5月、桜堤2丁目に市内6番目となる特別養護老人ホーム「さくらえん」、7月には境1丁目に介護老人保健施設「あんず苑アネックス」、年度末には境4丁目に認知症高齢者グループホームが開設される予定です。また、家族介護者の急な病気や葬祭時のために、緊急一時ショートステイ事業を拡大します。
3	高齢者福祉	私たちは80代の夫婦2人の生活をしており、お昼にときどきナーシングホームに行き、食事をおいしくいただいている。いくつかテンミリオンハウスができていようだが、私たちはシャイなので、なかなか出かけられないでいる。娘が神奈川にいるが、あそこは老人のためにとても立派な施設ができていて、そこで食事もできれば、お正月になると家族が集まって食事をしたり、とても理想的なことを伺っている。老人が気持ちよく食事できたりするような大きな施設ができてほしい。	現在のところ、大きな老人センター等の整備計画はありません。吉祥寺ナーシングホームの他にも、特別養護老人ホーム「親の家」(八幡町3丁目)、特別養護老人ホーム「ゆとりえ」(吉祥寺南町4丁目)でも、定期的な会食型の食事サービスを行っています。市内7カ所の高齢者向けテンミリオンハウスにおいても、栄養のバランスが取れた大変美味しい昼食がいただけます。スタッフの皆さんは、どのようにしたら初めての方が気軽に利用していただけるか、イベントをしたり、声掛けをしているところです。どうぞ、お気軽にお立ち寄りください。なお、昼食を召し上げる場合は、予約が必要ですので、事前に各テンミリオンハウスにお問い合わせください。
4		年輩者に対するサービスにつき、なんでも無料はどうかと疑問に感じている。	医療費、介護保険の利用料などは1割～3割のご負担をいただいておりますが、健康づくりや介護予防事業は、どなたでも気軽に参加でき、健康の維持を図れるよう原則無料としています(ただし、保険料代、送迎費用などは実費負担です)。利用者負担につきましては、総合的な視点から検討いたします。
5		認知症の予防に力を入れてほしい。	認知症予防は、生活習慣予防と重なる部分が多く、事業の実施においても、認知症単独でなく、他の予防と一体的に行ったほうがより効率的であると考えられます。今後は、より広い視点から予防事業の可能性について検討いたします。

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
6	高齢者福祉	一戸建ての一人住まいで、膝を悪くし、要支援の2であるが、雪などが降ると除雪が困難で困る事がある。何か方法がないか。	シルバー人材センターでは、草むしり、庭木の剪定、家具の移動などの作業を有料で行っています。また、訪問介護事業者等でも、介護保険外の自費サービスとして利用することができます。
7		終の棲家についてご考察を。	住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けることは、多くの方が望んでおられます。高齢者用の住宅整備を公費負担で行うことは、現状では考えていませんが、高齢者の住まいは大きな課題であると認識しています。在宅サービスや施設サービスの充実とともに、地域コミュニティの支えなども必要となりますので、福祉部門、住宅部門等が連携して取り組んでまいります。また、現在、高齢者の住み替え制度等の検討も行っています。
8	子育て支援	高齢者総合センターなどで、高齢者の催し物や行事がある。すべて無料で、大喜びで参加しているが、その都度、その費用を子ども2人抱えた娘が負担することを考えると、もっと教育の方に回したらいいのではと思う。娘の友達の話では、武蔵野は子育てするには苦しいから埼玉へ越すという方が、2人ぐらいいて、老齡社会にはいいが、子育ての社会には武蔵野は合わないという話も聞いた。	子育て関連の助成制度については、本市でも各種優遇策を図っています。乳幼児医療費助成に続き、小・中学生を対象にした義務教育就学児医療費助成制度についても昨年10月から本人負担がなくなりました。また、私立幼稚園に通園するお子さんの保護者の方には、私立幼稚園入園料補助金を平成19年度より30,000円に増額しているほか、流行性疾患に罹患した後に必要となる登園許可証明書の発行手数料についても、平成20年度から市の全額負担としています。
9	学童クラブ	学童クラブは、平成14年から土曜日は全部閉まっている。市からは、あそべえを利用してくださいと説明を受けている。学童クラブは本来、親が働きに行っている間、家の代わりに過ごす場所であるが、あそべえは遊び場所であり、公園に近い。そうすると、土曜日は、子どもにとっては家がなくなり、公園に1日いなさいという意味合いになってしまうところがある。学童クラブは、500世帯ほどが利用しているが、そのうちの2割か3割の人が土曜日は働いており、苦勞している。ぜひ早期に毎週全部の学童クラブが開き、みんなが土曜日を安心して過ごせるような形にしていきたい。それによって、皆さんも働きに出やすくなり、また子育てもやりやすくなり、そこから地域のつながりもつくりやすくなると考えている。	平成22年2月に策定いたしました「第三次子どもプラン武蔵野」の「重点的取組」として『地域子ども館あそべえと学童クラブの連携の推進と運営主体の一体化についての研究』があります。この具体的な事業として、「小学生の放課後施策推進協議会(仮称)」を設置し、地域子ども館あそべえ事業、学童クラブ事業、桜堤児童館事業や土曜学校も含めた小学生の放課後と土曜日の時間の過ごし方や、各事業における施策の課題等について検討していきます。これらの課題の中のひとつとして、学童クラブの土曜開所についての検討も行います。
10		子どもプランを非常によく考えていただき、安心している。学童クラブの土曜日開所はなかなか難しいという立場もわかるが、このプランの中で、ぜひ考えてほしい。	
11		保育園では土曜保育があるのに、学童に土曜開所がないのは非常に困る。ぜひ開所の方向へ進んで頂きたい。	

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
12	学校教育	<p>小・中学校単位でのメール配信をぜひお願いしたい。今年度、新型インフルエンザが流行し、急遽、午後が学級閉鎖になったとき、学校の連絡網は電話しかない。働いている保護者が大変多く、連絡がとりづらいため、子どもを帰宅させられないという状況が起きた。</p> <p>不審者情報の速やかな情報の受け取りとか、大きな災害があったときは、学校単位で構わないので、メール配信をしてほしい。個人情報やセキュリティの問題など、保護者も考えなければいけない問題点もあるので、その辺はPTAでも保護者と議論しながら、市も足並みをそろえて進めてほしい。</p>	<p>現在、多くの学校では電話による連絡網になっています。メール配信での情報の連絡には、個人情報保護などセキュリティ強化が不可欠となってきますので、今後は、関係機関と連携し、不審者情報等の情報を迅速に提供する仕組みについて検討いたします。</p>
13		<p>子どもたちを見てると、社会人教育というか、常識的モラルとか、そういうものが指導されているのか。そういう点をぜひお考えいただきたい。</p>	<p>学校では、道徳や特別活動等の授業の中で、体験活動や異学年交流、ボランティア活動を通して、子どもに豊かな人間性や社会性を育む教育を行っています。今後は、学校だけではなく、家庭・地域等、多くの人と触れ合う場を通して学ぶ機会を充実させていきます。</p>
14		<p>四小の夏の教室はまだまだ暑い。耐震工事があったが、エアコン設置にはいたっていない。エコの観点からもエアコンではなく、緑のカーテンやひさし(よしず)など、お金のかからない方向でも対応してもらえないか。</p>	<p>現在、夏季期間等の暑さ対策として、各教室に扇風機を設置しております。また、環境教育の取り組みの中で「ゴーヤー」を使って、緑のカーテンにより暑さをしのぐ研究を行うなど、暑さ対策として壁面緑化等への取り組みを実施している学校もございます。</p> <p>今後は、各校の取り組みを共有し、また、これらの効果について検証し、より環境に優しい省エネによる対応を検討していきます。</p>
15		<p>学童・学生の補習を高齢者が受け持ってみるのも良いと思います。一人では無理なので、グループで面倒を見てはどうか。一流の予備校並みにはならないと思うが。</p>	<p>現在も総合的な学習の時間等の授業において地域の高齢者に「昔遊び」を教えていただいたり、「戦争体験」をお話いただいたりしています。また、高齢者の方々をはじめ地域の教育力を積極的に学校教育に活用することを今後も検討していきます。</p> <p>また、シルバー人材センターの独自事業として、会員が講師となり、小中学生を対象とした補習教室を市内3カ所(吉祥寺南町・中町・桜堤)で実施しています。高齢者と小中学生との交流という意味でも、大変意義のある事業だと考えており、地域の拡大についても検討しています。</p>

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
16	青少年教育	子供達の運動不足と体力低下(昔より歩く機会が少ない)	<p>子どもたちの中には、習い事や塾通いにより、放課後や休日にスポーツ等に親しむ時間が十分に確保できなかったり、ゲーム・TV等で遊び、外出をしない傾向が見受けられます。現在、小学校では、休み時間等の外遊びの奨励や体育朝会等の取り組み、中学校では運動部活動の活性化や体育行事の充実を図っています。</p> <p>また、市では自然体験プログラムの実施や、地区青少協が実施する各種スポーツプログラム等を通して、青少年の運動機会の提供や体力増進の支援を行っています。</p> <p>今後も引き続き、子どもたちの体力・運動能力の向上に努めていきます。</p>
17		無病息災を願って松飾りを焼却するどんど焼きが、校庭などを利用して各所で実施されたが、温室効果ガスを放出、大気汚染をもたらしている。児童など楽しみにしている行事ではあるが、最終的には市の焼却設備で処理するようなやり方に変更すべきではないか。	<p>どんど焼きは、各学校・地区青少協・PTA・あそべえの共催事業としてそれぞれの地区で個性豊かな活動が行われています。しかし、共通してお飾りのお炊き上げの際には、低温で焼却される事でのダイオキシン類の発生等に配慮し、徹底して分別をし環境負荷を減らす努力を行っています。</p> <p>年中行事として、地域に根ざした活動でもありますので、ご指摘のとおり環境側面への影響には、これからも十分配慮してまいります。</p>
18	環境対策	エコ関係は思いつきで単純に跳びつかめよう。燃料電池、芝生など、ソーラー電池の市の負担は。	<p>市では、平成12年度から、市立小学校等へ太陽光発電の設置を計画的に進めています。設置経費は、1カ所当たり2千5百万円程度です。</p> <p>燃料電池については、現在大野田小学校校門脇に1基を設置し、発電した電気は学校へ、発生した温水は隣接する給食調理場へ供給しています。経費はリース料で、年間25万円程度です。いずれの設備も、児童には環境学習に、周辺の方々に対しては、新エネルギー機器の普及啓発に役立っているものと認識しています。</p> <p>校庭芝生化についても、その効果等を見極めるため、一部の学校で試験的に導入しています。経費は面積等により異なりますが、第三小学校の例では、1千万円程度です。</p>

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
19		<p>四小地区福祉の会で活動している。避難所のことについて伺いたい。以前の洪水で水没した近くにも、多くの要支援の方がいる。今度市と共同で、災害時の支援を平成22年度から受けることになっている。今後、地域の拠点になるコミュニティセンターが、災害のときにはどのような位置づけで、私たちの避難に協働でやっていただけなのか、市長からお聞きしたい。</p>	<p>コミュニティセンターは、運営協議会が運営している施設であり、地域防災計画では災害時についての特定の位置付けを決めておりません。皆様から様々なご提案をいただきながら、考えてまいります。</p> <p>本市では、災害時に家族などによる援助が困難で、なんらかの助けを必要とする障害者、高齢者で要介護度4及び5の在宅の方、要介護度1～3の一人暮らしまたは高齢者のみの世帯の在宅の方(要援護者)が、地域で安否確認などの支援を受けることのできるしくみを整える「災害時要援護者対策事業」に取り組んでいます。具体的には、要援護者一人ひとりの避難支援プラン(要援護者個人台帳)を策定するために必要な情報収集を行い、地域と関係機関が連携・協働して、災害時に支援を行うネットワークづくりを進めています。</p> <p>平成19年度に2地区(吉西・東部福祉の会)でモデル事業を実施し、平成20年度には5地区、そして平成21年度、3地区(四小地区・境南・境)での事業が進められています。平成22年度に残りの3地区(大野田・南町・千川)も実施予定です。四小地区福祉の会は、北町1丁目・2丁目・北町3丁目1～4、10～14地域で、平成22年4月の下旬から支援者探しを行う予定です。</p>
20	防災	<p>防災推進員として、毎月、消火器の点検が一番大きな仕事である。去年、家の建て替えがあり、いつの間にか消火器がなくなっていたので、備考欄に、ナンバーのいくついくつ、何丁目の消火器がありませんということを報告した。その後、防災の係に話したとき、設置についてこれから検討しますという段階であった。その後しばらくたって、全然違う場所に新しい消火器が設置されていたので、また備考欄に、新しい消火器がありびっくりしたと報告した。</p> <p>防災推進員は、防災課からこの何戸分の消火器を点検するようになっているのに、依頼されている者が、なくなった、設置してあったと報告するのは、逆ではないか。</p>	<p>防災協会を通じて、消火器の新設・撤去などの情報や工事の予定などの情報を、より迅速に防災推進員の皆様にお伝えするように改善いたします。</p>
21		<p>消火器の設置について、新しく設置された場所が、元の場所にとっても近いところにある。1つの道路の面に4カ所もあったり、逆に全然なかったりというように、もう少し検討した方がいいのではないかと。推進員に相談するなり、係が道をよく歩いて、均等に置いた方が効力があるのではないかと。</p>	<p>消火器は60m間隔を目安に、現在市内全域で約1,500本設置しております。</p> <p>設置箇所については、ご自宅の前に設置しても良いという方がなかなかいないのが実情です。防災推進員の方々や地域の皆様の協力を得て、設置を進めていきたいと考えています。</p>

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
22	防災	四小地区が一時避難所で、成蹊も避難場所になっている。長年の課題になっているが、北コミから保育園を過ぎると突き当たりになり、その脇に避難道路がある。成蹊の方に入っていく細い道だが、あの避難道路では災害になったとき、ちょっと狭過ぎる。もうそろそろ結果が出てもいいのではないか。	第四小学校が避難所、成蹊大学グラウンドが広域避難場所となっています。 この地域は住宅が密集しているので、避難の際は、多少遠回りしても安全なルートで避難してください。 道路については、狭あい道路事業により住宅の建て替え等に合わせて整備を進めています。
23	コミュニティセンター	コミセンの申し込みについて、区部ではインターネットでの申し込みになっている。申し込みで、寒いときでも1時間も立っていることがないように、ぜひインターネットでの申し込みを行ってほしい。杉並はもうインターネットで申し込みができる。	コミュニティセンターは、地域におけるコミュニティづくりの拠点として、ボランティアの皆さんに管理・運営をお願いしています。単なる貸し館ではなく、住民の皆さんに足を運んでいただき、運営している方々や利用者同士が出会い、つながりあうための施設として位置づけており、電話での予約受付も行っていません。しかし、利用率の高いコミセンでは、申し込み初日に早朝から並ばれるところもあり、何らかの対応が必要かと存じます。無料で利用できる施設であるということから、費用対効果も踏まえ、コミュニティ研究連絡会等での検討をお願いしたいと考えています。
24	文化・芸術	武蔵野市の良さは、自然に恵まれ、文化がある点だ。財政はそんなに豊かとは思えない。従って市の良さを発揮するには、もっと自然を守り、文化を高めることだと思う。その施策として… 1. 武蔵野市在住の文化人(学芸・文化に優れた人)の活用と人材(人財)の活用、講演会・勉強会の開催—ボランティア活動 2. 施設の開放、PR	武蔵野地域五大学共同講演会の基調講演で毎年市内在住または市ゆかりの文化人の方に講演をお願いしています。またサイエンスフェスタや土曜学校等の事業には多数の地域の方々がボランティアやスタッフとして参加していただいています。 また、市内にあります文化財については、武蔵野市文化財散策マップで紹介しています。
25	水害対策	短期下水道計画として、公立の学校等には浸透施設がかなり設置されているが、私立学校についてはどうなっているのか(例えば、成蹊学園など)。	成蹊学園には、平成21年度にグランド改修工事に伴い、トラック・インフィールド合わせて21,000㎡に降雨強度50mm程度の雨が2時間対応できる浸透施設を設けていただきました。今後も他校含めて協力をお願いしてまいります。
26		北町の防災公園とか北町地区に大型の貯留槽ができるようなうわさがあるが、それについても聞きたい。	この地域に貯留施設を設けることは大きな効果があると考えています。今後も引きつづき研究を進めてまいります。
27		保育園の水没について検討するといったが、その後の保育園の検討はどうなっているのか、教えてほしい。	北町保育園については、移転用地を確保する必要があり、移転の可能性等についても研究しているところです。

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
28	水害対策	毎年、特に6月、9月には、保育園の路面の水位が数十cm前後、集中豪雨になると70cm近く上がる。当然ながら床上すれすれのお宅が何軒、あるいは何十軒かになるが、ややあきらめ気味になっている。それが非常に怖い。我々は毎年3・4回、非常に戦々恐々と集中豪雨に崇られている。 その辺をお考えいただき、ソフトの面はもう十分やっけていただいているので、ぜひハード面について、しっかりと我々の現状を踏まえて、早急に対応していただきたい。	北町保育園については、移転用地を確保する必要もあり、移転の可能性等に合わせて、現在の北町保育園の敷地内に雨水貯留施設を設置することについても研究しています。 その際、用地が前提となるため、現在、用地の確保に努めているところです。
29		最近、浸透柵など対応していただいた。もし4年前の状態が、日中にあった場合、隣のお年寄りの方、それから子どもたちがたくさんいて、どういふふう避難をするのかを考えると、ぞっとする。 保育園と北コミセンが一對になって、どこかに移転するような対策を組んでいけないのか。それが予算的にできないなら、この前の道のところに直径3メートルぐらいの土管を造って、そこに雨水専門の吸水口をつくれば、かなりの雨がそこに入る。ある程度収まったら、今度はそれを汲み出して、川のほうに流していけばいい。	
30		文化都市・武蔵野で毎年水害の恐怖に怯えることは、もうこりごりだ。緊急避難的な対策は雨水の貯留槽の建設です。北町地域の水害は地域に降った雨水によるものではなく、武蔵野市に降った雨水が、下水道を通じて逆流し、マンホールから噴出し、被害をもたらしていますので、武蔵野市全体の問題です。緊急に雨水貯留槽の建設を強く要望する。	
31		保育園の場所を替えて貯水槽を造るという計画があるが、もう4年もたっている。自分のことを言うと、北町に住んでいて、かつ保育園に子どもが通っていて、雨が降ると、昼も夜も水没について悩まなければいけない。 極めて具体的に、言いづらいとは思いますが、何年ぐらいを予定しているか、できる範囲で教えてほしい。	
32		保育園の移転をして、その跡に大型の貯留槽(最低1万t)の設置を早急に是非実現してください。「北町1丁目は浸水の区域」との汚名を払拭して戴きたい。	
33	北町水害(集中豪雨の被害)のネックとなっている貯留槽をぜひ設置して下さい。詳しくお答えください。(予算面の手当も方法も含めて)	北町保育園については、移転用地を確保する必要もあり、移転の可能性等についても研究しているところですし、合わせて、現在の北町保育園の敷地内に雨水貯留施設を設置することについても研究しています。 この地域に大型の貯留施設を設置するには、用地の確保等様々な課題がありますが、今後も早急実現できるよう努力していきます。	

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
34	水害対策	春から秋にかけて、特に夜中に警報が出ると寝られない。さらに今年は警報が出る前に、既に水が20cm、30cmと上がってきている。直接床下、床上の被害を受けた者は、そういう思いに悩まされている。とにかく基本的なものは安心で安眠である。安心・安全というより、安心・安眠だ。くどいようだが、我々住民の思いを汲み取って、施設を考えてほしい。	貯留浸透施設の整備、雨水浸透柵の設置等浸水対策事業を進め、安全で快適なまちづくりを進めてまいります。
35		水害対策について、保育園の先生方が日中子供達の安全保育でヘトヘトになっている上に、雨の心配、曇を上げたりしている様子を見て、本当に早急に対策することと思います。	
36		北町保育園附近の水害対策について、特によろしくお願い致します。	
37		水害対策、具体的に早急を実現して頂きたい。安心して住めるまちづくりを強力に推進して頂きたい。	
38	吉祥寺のまちづくり	最近、百貨店が次々に撤退している。何か市として問題はあのか。税金なのか、土地代なのか、あるいは政策なのか。今の吉祥寺の雰囲気はかなり変わると思うので、その辺の事情を聞きたい。	吉祥寺は住みたいまち・住んでよかったまちランキング第1位になるなど、都内でも人気の高いまちですが、近鉄百貨店(平成13年2月)、三越・大塚家具店(平成18年5月)が撤退しました。近年は、製造販売型小売業の台頭が著しく、各種報道にあるように百貨店業界全体の売上げが低下している中で、伊勢丹吉祥寺店の閉店(平成22年3月)が企業の経営判断で決定しました。政策的には、駅から200mほど離れた位置に大規模店舗が立地するよう誘導してきた経緯があります。今後も大規模店舗と個性豊かな商店街がこれらを結ぶことで、ぶらぶら歩きが楽しめるまちとして、回遊性という吉祥寺の魅力を維持・向上していくようなまちづくりに努めていきます。
39		東急についても悪いうわさが流れている。百貨店がなくなった途端に、吉祥寺のイメージが落ちる可能性があるのでは、非常に心配している。	東急百貨店が閉店されるということは聞いておりません。同店は3月上旬に食料品、コスメ、婦人服フロアを中心に改装オープンしており、今後とも吉祥寺の魅力である回遊性を維持・向上するようなまちづくりに引き続きご協力をお願いしたいと考えています。また、平成22年度は、吉祥寺への来客が減少しないように「進化するまち NEXT-吉祥寺」という活性化事業を進めていきます。

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
40		吉祥寺駅が、現在大改修しており、南北の融合がもっとできるかと思うが、南北の誘導路などはどういうふうになるのか。	<p>現在、JR東日本及び京王電鉄と南北連携の強化など、駅自体の機能を改良するため、平成21年7月に基本協定を締結し、協議を行っています。</p> <p>例えば、JR中央口を出てしまうと、京王井の頭線に乗り換える道がわかりづらかったり、井の頭公園に行きたくても、これも道順がわかりにくいなどのご意見もいただいておりますので、単純に各鉄道会社の事業をするのではなく、現在はバラバラの駅を一体の駅になるようにしていきたいと考えています。</p> <p>現在の駅南北連絡は、主歩行導線としては幅員が4～14m程度と狭く、経路も複雑なため、幅員を8～16mに広げるとともに、通路をストレートにするなどの整備を行う予定です。なお、この計画はJR吉祥寺駅の改良工事及び京王吉祥寺駅ビル建替えに合わせて行うため、完成までには4年程度かかる見通しです。</p>
41	吉祥寺のまちづくり	まちの景観をよくして、魅力ある吉祥寺であってほしいと思う。吉祥寺駅は顔。	JR東日本や京王電鉄の駅改良事業に伴い、景観に配慮し、まちのシンボルとなる駅舎前面の改修などを行ってまいります。
42	吉祥寺のまちづくり	地代が高い為か、チェーン系列の薬・靴・メガネなどの店ばかりが目立ち、町のイメージを低下させている。例えば三浦屋さん・伊勢丹の撤退など、年齢に関係ない店がなくなり、若者対象の店が多くなり過ぎ、街のもともとの店が少なくなり、落ち着きが薄れてきた感じが強い。なんとか住んでいる人と外の人とが話し合い出来る町づくりを望む。	<p>吉祥寺の発展の一翼を担ってきた伊勢丹吉祥寺店が撤退しましたが、吉祥寺のブランド力(品格)・集客力を維持・向上させていくための核として、吉祥寺を愛し、まちづくりに貢献していただけるテナントを誘致するよう、事業者である三菱商事都市開発株式会社と交渉を進めています。世代を超えて支持され、永く商店街とともに上質な買物環境を形成するような吉祥寺にふさわしい商業ランドマークとして、平成22年10月頃オープン予定です。</p> <p>また現在、吉祥寺では駅改良事業・南北自由通路整備、吉祥寺ロンロンのリニューアルオープン準備、自転車駐車場の整備、市民や来街者に喜ばれる都市観光の推進など様々な施策が進んでいます。</p> <p>今後とも吉祥寺が商業的に高い地位を維持できるよう、タウンミーティングなどを通して、地元商店街や地域住民の方など様々なご意見を参考にしながらより魅力あふれる吉祥寺の創造に努めていきます。</p> <p>生鮮三品が揃うなど、年齢に関係なく利用できる店舗の構成については、武蔵野市商店会連合会と意見交換しながら、商店街の活性化を図っていきます。</p>
43	駅周辺開発	ホームで見わたすと駅のガラスがくすんでいて、駅前には看板だらけ。改善していただきたい。	看板の規模等は、東京都条例で制限がされており、一定規模以上のものは、東京都に許可権限がございます。また、駅前には商業地域となっており、新宿、渋谷などと同様に制限がないと言える状況であり、現在のところは市独自の規制ができない状況です。今後は、吉祥寺のあるべき姿や規制について、景観条例の中で検討していきます。

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
44		このまちは非常にいいまちだが、住宅地の東西の道路が、南北に比べてかなり弱い。かなりの交通量なので工夫できないのか。	吉祥寺地区では、南北の短冊形で農地が開墾されたため、宅地化された後も南北道路は残っています。しかし、東西道路は五日市街道、井の頭通りなどの主要幹線街路のほか、北裏区画道路が開通しましたが、地区内道路が少ないのが現状です。既存の都市計画道路の実施とともに交通環境の改善を考えていきます。
45	道路	狭い道に垣根や枝が飛び出している所が多く、車が来てもよける時にもあぶない思いをしています。	宅地から道路へはみ出した庭木については、所有者へは剪定等を指導していきます。
46		成蹊学園の横にある南北の道について、ずいぶん前から、一部が成蹊学園が拒否してつながついていないが、その後どうなっているのか知りたい。	都市計画道路3・5・17号線(成蹊通り)は、昭和37年度に都市計画決定し、現在、約670mの事業は完了しておりますが、残りの約350mについては、完了していません。この路線は、地域の交通環境の保全はもとより、市の中央部を南北に縦断し、都市間相互の広域的交通への対応とともに、都市防災の強化等、都市の根幹的施設として、必要がある道路と考えており、今後とも地権者に協力を求めてまいります。
47	ムーバス	北西回りのムーバスだが、1時間に1本ぐらいは、市役所のほうに回ってもらえないか。というのも、出張所がある商工会館に行くのに、ムーバスに乗っていくが、練馬寄りの方は、どっちに行くにも遠い。歩いていくのも遠い。自転車も、危険なところもあるので、1時間に1本ぐらい、循環していただきたい。	ムーバスは、1周5km・30分程度で循環することを目的に運行ルートを設定しています。市役所経由となると、路線延長、所要時間が増大し、定時制の確保が得られないことや一般の路線バスと重複することなどを考慮し、交通不便地域ではない市役所を経由する運行は難しいと考えています。
48	自転車	自転車の危険性を日々感じている。市はムーバスを導入し、お年寄りが自立して歩ける、やさしいまちのシンボルとしているが、そのムーバスのバス停とバス停をつなぐ道、導線がつながっていない。例えば、商店街も自転車を押さなければ通れないとか、行政だけでは出来ないが、いくつかの商店街と連携して行い、また、商店街ごとにどの商店街が一番ふさわしいか表彰するなど、啓蒙できるのではないか。	小学生を対象とした「自転車安全教室」の開催をはじめ、「スタントマンが自転車交通事故を再現する新たなタイプの交通安全教室」を中学生を対象としたものと、路上を利用しての一般市民を対象としたものを開催し、ルールやマナーを守らない自転車運転がいかに危険かを体験する取り組みを進めています。吉祥寺のサンロード商店街など、自転車走行を禁止している商店街はありますが、禁止しているにもかかわらず、暴走する自転車があることは商業者も把握しています。商店街で安全に買物ができるようにすることは商業者の願いではありますが、道路自体は商業者の所有ではありません。ご提案いただきました商店街の中への自転車乗り入れにつきましては、それぞれの商店街の実情を勘案し、商店街をはじめ、道路管理者や関係部署、関係機関等と連携を図りながら協議、検討していきたいと考えています。

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
49	自転車	病院では高齢者の方が日々ハビリしているが、そういうところを学校教育として見学すると、自転車に乗る側、特に若い人も気をつけるようになるのではないかと。いろいろな人たちに呼びかけて、自転車は危険だということを、総合的に、各担当課の垣根を越えて伝えてほしい。	学校では、社会の中でルールやマナーを守ること、他人への思いやりをもつことなど、道徳等の授業を中心に指導しています。また、総合的な時間を利用して高齢者体験など、多様な体験活動を通して高齢者や体の不自由な方への理解を深め、思いやりの心情を培うように努めています。 市では、市立小学校を対象とした自転車安全教室、市立中学校を対象としたスタントマンを活用した事故再現型講習を行っています。特に、実際の交通事故をスタントマンが再現し、自転車利用することで、被害者となるばかりでなく、加害者になることもあるということを周知しています。また自転車安全利用講習会を定期的開催し、各世代満遍なく受講していただき、受講者からは、好評をいただいております。
50		自転車の問題だが、若いお母さんからルールが崩れてる。PTAあたりで、お母さんの教育をぜひお願いしたい。	市では、自転車安全利用講習会を定期的開催し、特に年代を制限せず、各世代満遍なく受講していただき、受講者からは、好評をいただいております。これまで、5,000人を超える方に参加いただき、正しい交通ルールを学んでいただきました。自転車関連事故についても、件数は減少しており、徐々に効果が出始めているものと認識しています。
51		自転車で住宅街を左側に走って、十字路を左に曲がろうとすると、右から走ってきた自転車と3回ぶつかりそうになった。昔、人は右、車は左と教わり、今も変わらないと思う。大抵若者だったが、やはり自転車のルールをしっかりと守ってほしい。	市では、自転車安全利用講習会を定期的開催し、特に年代を制限せず、各世代満遍なく受講していただき、受講者からは、好評をいただいております。これまで、5,000人を超える方に参加いただき、正しい交通ルールを学んでいただきました。自転車関連事故についても、件数は減少しており、徐々に効果が出始めているものと認識しています。
52		三鷹駅前駐輪場が当たらない。講習を受けた方が優先になるようだが、学生は困っているので優先すべきと考える。	三鷹駅は、駅周辺への自転車乗り入れ台数が都内第1位となっており、自転車駐車場の整備は喫緊の課題となっています。またそれに伴い、市内で起こる全交通事故に占める自転車関連事故の割合は、5割を超えている状況です。こうしたことから、交通ルールを身につけた安全意識をもった方に駐輪場を使っていただくため、利用登録駐輪場につきましては、安全利用講習会認定者を優先しており、学生をはじめ幅広い層が受講しています。
53		夜の自転車の無灯火に罰金を課してはどうか。大変あぶないと思います。	自転車は、道路交通法上軽車両に位置づけられますので、従前より、無灯火をはじめ飲酒運転、2人乗りなど安全ルール違反者に対する罰則規定がございます。 昨今、自転車に関連した交通事故が増加傾向にあることから、利用者が正しいルールを知り、安全に利用してもらうことを目的とした交通規則の制定・改定が適宜施行され、それに伴う指導・取り締まり並びに罰則規定も強化されたところです。今後も、警視庁、交通安全協会等と連携を図りながら、交通事故撲滅に向けて更なる努力を続けてまいります。

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
54	自転車	中学生の自転車の運転が怖い。そういう教育を本当に学校でやっているのか。	学校では、自転車を運転する上での正しい乗り方やマナーなどを交通安全教室を通して行っています。中学生を対象としたものとしては、「スタントマンが自転車交通事故を再現する新たなタイプの交通安全教室」を実施しています。今後も、自転車運転者が歩行者に対して加害者等にならないよう、引き続き指導をしていきます。
55	上下水道	下水道総合計画の前提には野川の処理場の新設、それから外郭環状道路建設の際に造られる大型の下水道と、外部の要因がたくさんあるので、都に対して共同推進をぜひ要請してほしい。	本市の汚水処理や雨水排除にとって大変重要な施設である、野川処理場や外環に整備予定の雨水放流幹線については、現在事業の早期実施を目指し、関係省庁や東京都と協議を行い、共同で事業の推進に当たっています。
56		下水道総合計画の実現を計画通りお願いしたい。	下水道総合計画は、本市下水道の現状と課題を整理分析し、今後20年間に実施しなければならない事業を抽出、財政面も含め総合的に検討した結果を基に、今後の事業の方向性や段階的な取り組みを示した実効性のある計画です。なお、本計画は社会情勢の変化や事業進捗にあわせ、5年毎に見直すことにしています。
57	市民協働	タウンミーティングで市民の意見を聴くのは、すごくうれしいところではあるが、公募委員を募集していると言ったときに、結局、利益誘導型の市民の方、要は受益者だったり、特に関係をされている方が、多く入ってくるというようなことも聞いたので、ぜひ無作為抽出の市民討議会というのを検討してほしい。	市では、この2年間、各委員会の設置目的等に沿って公募に応じていただいた49名の市民に、公募委員として委員会に参画していただいています。また、ご提案いただいた無作為抽出については、公募制度とは趣旨が異なり、より広く市民に参加していただきたい委員会等、設置目的によっては有効な手段と考えられますので、今後も研究してまいります。
58		タウンミーティングは、4年に1回の開催ではあまりにも期間が長過ぎるのではないかと。1年に1回は無理でも、2年に1回ぐらいでないと、1つの出来事がどう動いているか、その間の流れが非常にわかりにくい状態になるのではないかと。また、団塊の世代の人たちがもう少し入って、地域ミーティングのようなところで、地域のひとつの大きな課題を話し、それを持ち上げてタウンミーティングの形にすると、また違った意味のミーティングになっていくのではないかと。	タウンミーティングは、原則として議会のない月に、年7回開催しています。地域別やテーマ別、市政全般など、様々な形態で実施しているため、同じ地域での開催には、ある程度の期間がかかっています。地域別の開催でも、他の地域からの参加はできますので、ご都合のいいときにお越しいただき、ご意見をお寄せください。今後も、多くの皆様にご参加いただけるよう、工夫してまいります。

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
59		前回の意見と市の対応、4年前から今日までの継続した取り組みなどの報告は、タウンミーティングのあり方、工夫のあとがあり、今後とも努力して意義深いものになるようお願いしたい。	今後も、皆様からお寄せいただいた意見は、聞きっぱなしにせず、報告書などでお答えしていきます。
60	市民協働	要望や意見に対して、①行政の役割(特に財政面、優先度、見直しなど課題面での問題など市民に理解を求める点を明確にすること)②市議会 ③市民との協働対応について、具体案を示すようにしてほしい。	皆様からお寄せいただいた意見は、報告書などでお答えしています。内容については、今後とも、市民の皆様にわかりやすいように工夫してまいります。
61		子連れで参加しやすいタウンミーティング(保育付等)を開いていただけるとありがたい。	多くの皆様に参加できるよう、曜日、時間帯、場所を変えて、開催しています。今後も、多くの皆様にご参加いただけるよう、工夫してまいります。
62	情報	八幡町地区にある武蔵野中央公園で、今工事をしている。都立公園なので市の管轄ではないが、工事が始まるまで全然知らなかった。周りの方に聞いても、知らないと。市の職員に何人か聞いても、ああ、工事やってますねという程度だった。公園のセンター長と話をした時、市や学校に伝えたか聞くと、それはしてない、ということだった。 都の施設ではあるが、市内にある、特に市民も含めて多く利用する公園なので、そういう情報は市がとってきて、地域にぜひ落としてほしい。都がやっているからとか、都に任せてますとかではなく、これは我々の安全に係わってくることと思うので、情報をしっかりとって、ぜひ地域に、そして、そのことを知った部署は、関係のあるところに伝えてほしい。	情報の収集・共有化・提供などについては、今後も検討してまいります。
63	その他	そろそろ利息ゼロ政策を止めてほしい。利息を出せば消費は活性化する。住宅ローン2%など、甘え過ぎだ。私達は8%だった。	市としては、市中金利を調整できる立場ではございませんが、ご意見として承ります。

3. アンケートでいただいた感想

※アンケートの自由回答欄でいただいた感想のうち、主なものを掲載しています。

1	参加しやすく、発言しやすかったです。これからもよろしくお願いします。
2	意見交換の方法、司会も上手にされ、回答も良かったと思う。
3	市長のお話は、とても良くわかりました。水害対策の話は良くわかり、これからも十分に計画を立ててお願いします。
4	市長に建設的意見を言ったことが、早く実現してほしいと思います。
5	まちの様々な課題を聞く機会をいただき、とても勉強になりました。
6	日頃、地域の課題にもっと目を向け、武蔵野市が住みよい町になるように、自分も考えていなければと感じました。
7	日頃、北コミセンを利用させて戴いて、一人住まいも皆様に助けられ、楽しく生活しております。
8	北町に住んで良かった事を感謝致しております。外部の人に比べ、武蔵野市の高齢者は幸せです。
9	老後の住家として都心から移って来ました。はじめは元気でしたので、最寄のバス停まで歩くのは苦にはなりませんでした。後になってムーバスが通るようになって、日常の買い物に不便がなくなりました。老人に対する種々の対策も安心して頼りにしております。

4. 前回のタウンミーティング(第3回)での主なご意見とその後の進捗状況

分類	ご意見(H18.4.7実施)	報告書(H18.6発行)での市の対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
	<p>在宅介護の充実。医療と福祉の連携が悪い。</p>	<p>武蔵野市では高齢者福祉の基本的視点として「高齢者が住み慣れた地域で安心していきいきと暮らせるよう、介護サービスについての量の充実と質の向上をめざす」とし、高齢者の方が在宅で充実した介護が受けられるように引き続き努力していきます。また、介護保険制度の中の主治医意見書の制度を活用するなど、より一層医療と福祉との連携を図っていきます。</p>	<p>在宅介護の充実及び医療と福祉の連携については、以下のとおり取り組んでいます。</p> <p>①平成20年7月「認知症見守り支援事業」の開始、平成21年4月「家族介護用品支給事業」の対象要件の拡大など、本人及び家族へのサービスの充実を図っています。</p> <p>②平成20年に全国に先駆けて医療機関と行政とケアマネジャーが協働して、脳卒中診療の「地域連携パス」シートを作成しました。これにより急性期治療、回復期リハビリ、さらに在宅での治療とケアを継続することができるようになりました。(市報平成20年12/1号掲載)。さらに、認知症についても、連携シートの作成を、医療機関や医師会とともに進めています。</p> <p>③平成21年7月に医療系の介護サービス事業者で組織する訪問看護・訪問リハビリテーション事業者連絡会議を設置し、各種事業者等の横断的な連携や協働を図っています。</p> <p>④平成22年度以降、ケアマネジャー研修センターでは、医療ニーズの高い方のケアマネジメントに対応できるよう、医療知識に関連した内容の研修体系を構築していきます。</p>
<p>高齢者福祉</p>	<p>老人の転入が増えているので、予防にこれから特に力を入れて欲しいです。支援センターと予防をうまく連携させて欲しいです。予防をしないと、後々大変なことになると思います。予防についてTV等で見ますが、どうお考えなのでしょうか。</p>	<p>平成18年度の介護保険制度の見直しの中で要介護状態になる前の「介護予防」ということが強調され、市でも充実した介護予防施策の推進に取り組んでいます。健康づくり支援センターでは、一般高齢者の健康づくりとして生活習慣改善支援と、高齢者の運動機能面の維持・向上に焦点を絞ったシニア活力アップ推進事業を柱に、高齢者の方一人ひとりが健康づくりを自発的に実施し、続けていけるよう情報を収集・発信します。また、「出前講座」など啓発活動を行い、介護予防との連携を図っていきます。</p>	<p>平成20年度の介護保険法の改正により、介護予防事業に力を入れていくことになり、高齢者支援課だけではなく、健康課、健康づくり支援センター、地域包括支援センター及び在宅介護支援センターとの協働の上に事業を進めています。</p> <p>高齢者支援課では、65歳以上の方のうち要介護状態になるおそれの高い虚弱な状態にあると認められる方(特定高齢者)を把握するために、毎年1回、要介護認定を受けていない65歳以上の方全員に「基本チェックリスト」を送付し、返信していただいています。</p> <p>その後健康課で、返信された方のうち機能の低下が予測される方には基本健康診査に加えて生活機能検査を受けていただいています。健診後、お元気な方には健康講座のリーフレットを送付し、「特定高齢者」と決定された方には地域包括支援センターからご案内を送付して介護予防講座に参加していただいています。</p> <p>その他、市ではずっと以前から介護予防を目的としたさまざまな事業を行っておりますが、いろいろな機会を利用してご紹介、お誘いしています。また、健康づくり支援センターを(財)武蔵野健康開発事業団に移管し、健康推進計画の重点的な取り組みとして市民・地域・民間等と連携を図り、健康づくり活動をより一層推進しています。</p> <p>介護予防事業は、それだけが単独で行われるのではなく、生涯を通じての健康づくり施策の一部として展開できるよう取り組んでいます。</p>

分類	ご意見(H18.4.7実施)	報告書(H18.6発行)での市の対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
介護保険	<p>自宅を提供しながらコミュニティ単位のケア、柔軟な対応</p>	<p>市では、高齢者の方が参加していただきやすいように、地域のコミュニティセンターにおいて健康づくりのための各種事業や、身近な公衆浴場を利用して不老体操、浴場開放事業を実施しています。また、地域の人材と建物を有効に利用して、地域で支援を必要としている高齢者の方に対して、地域の実情にあったサービスを提供するテンミリオンハウス事業を行っています。今後も市民の皆様のご意見を伺いながら、地域に密着した福祉事業を展開していきます。具体的なご提案があれば、担当までお申し出ください。</p>	<p>テンミリオンハウス事業については、平成20年10月、市内7箇所の高齢者向けテンミリオンハウスとして、中町3丁目に「テンミリオンハウスくるみの木」がオープンしました。今後も既存の高齢者施設の配置を勘案しながら整備したいと考えています。</p>
	<p>介護保険はもう1割負担になったのでしょうか？介護・福祉のむさしののイメージはいいと思います。内容が伴っていないと思う。</p>	<p>介護保険の利用者負担額の一部を市が負担する制度については、あくまでも制度発足時の激変緩和措置であるので見直しを行い、低所得者に限定した新制度に切り替えます。従来市で行ってきた助成制度は、平成18年度6月利用分まで継続します。</p>	<p>平成18年7月から介護保険利用者負担額助成事業を実施し、低所得の方のうち訪問介護等のサービスを利用される方に対し、利用者負担額の半分を助成しています。平成21年4月から対象要件を緩和し、対象者を拡大しました。また、通所介護等の通所系サービスを利用される低所得の方に対し、施設で提供される昼食についても、一食あたり200円の助成を開始しました。</p>
	<p>介護保険改正(4月から)の後、ヘルパーの時給は下がり、介護職員はますます生活苦になっています。老人の立場からだけでなく、職員の過酷な現状を、市長はどうお考えなのでしょうか。</p>	<p>介護職員の労働条件については、都が指定した各介護事業者の定めによるものと考えます。介護労働者の適正な賃金水準の確保が可能な介護報酬の設定は不可欠だと考えていますが、今回の介護報酬の見直しはある程度このことに配慮したものだと考えます。</p>	<p>平成21年4月の報酬改定において、介護従事者の人材確保・処遇改善等を図る目的で、制度発足以来初めて介護報酬が総体として3%アップされました。国の調査によれば、この改定を受けて、訪問介護員を含めた介護職員の月給が8,919円上昇したとのことですが、本市の調査では必ずしも処遇改善に繋がったとは言い難い側面も見られます。また、国では介護従事者処遇改善交付金を創設して、さらなる処遇改善を図っているところです。本市としましては、事業者の連絡会議等の場を通じて交付金の積極的な活用を指導しています。また今後この交付金が処遇改善にどの程度寄与しているかを検証したうえで、処遇改善のあり方等について国や東京都に対して意見を申ししていきたいと考えています。</p>

分類	ご意見(H18.4.7実施)	報告書(H18.6発行)での市の対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
障害者福祉	<p>・保健センターにおける、1歳半・3歳児検診後の、障害をうたがわれる子どものケアについて。 ・べこのこ学級の予算が減らされたと聞きました。定員を増やしてほしいくらいなのにおかしい。障害が軽いと、断られている人が多い。</p>	<p>保健センターでは、1歳6か月児保育相談の結果、発育上要経過観察と認められた幼児に対しては、集団遊び、保健指導、心理相談等を行う「幼児教室」を、3歳児健康診査において言葉の遅れ、母子分離ができない等で心理相談や経過観察が必要とされた子と母親に対しては、自由遊び、テーマ遊び、個別相談を行う「こどもクラブ」を実施しています。昨年度は、重度で他に行き場のないお子さんの待機状態がありました。今年度はそれを解消するため、保育園や幼稚園に通いながら通所されている場合は、保護者と相談のうえ一定の枠内での通所をお願いしています。なお予算につきましては、昨年度と変更はありません。</p>	<p>保健センターで実施する1歳6ヶ月児保育相談、3歳児健康診査の結果、発達上経過観察の必要な幼児や要支援家庭を把握した場合、1歳6ヶ月児、3歳児それぞれの経過観察グループにおいて、集団遊びの場を提供し、心理相談や保健師による相談を実施しています。</p> <p>平成21年度より地域療育相談室「ハビット」の親子通園事業が開始され、療育が必要な幼児は、保健センターの経過観察グループから比較的早い時期に親子通園事業に移行しフォローできるようになりました。</p> <p>また、健康診査で要観察とされた幼児が来所する発達健康診査に、健康課と障害者福祉課、「ハビット」が関わるようになったため、障害福祉サービスや「ハビット」の専門職による相談等、早期支援ができるようになりました。また、平成22年度からは、各種健康診査において心理職を増員し、健康診査時の個別相談を充実させます。</p> <p>べこのこ学級については、平成18年度から「こども発達支援室ウィズ」に名称を変更しました。平成21年度からは、児童デイサービス事業所となりましたが、地域療育相談室ハビット等関係機関との連携を深めるなどサービスを更に充実させています。</p>
	<p>障害者のためのタクシー券を増やして欲しい。</p>	<p>公共交通機関の利用が困難な心身障害者の生活圏の拡大を主な目的とする、武蔵野市独自の事業です。ほぼ横ばいの利用状況などから、現行でその役割は果たしているものと判断しています。</p>	<p>平成18年以降も、登録者1名当りの利用件数がほぼ横ばいの利用状況であることから、現行でその役割は果たしているものと判断しています。</p>
	<p>障害者に配布されている美容券・利用券が年間5枚に減らされましたが、せめて年間6枚配布してほしい。</p>	<p>外出困難な重度心身障害者の保健衛生の向上を主な目的として、武蔵野市民社会福祉協議会に委託している武蔵野市独自の事業です。平成9年度から現行枚数で配布していますが、ほぼ横ばいの利用状況などから、その役割は果たしているものと判断しています。</p>	

分類	ご意見(H18.4.7実施)	報告書(H18.6発行)での市の対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
子育て支援	<p>子どもの数がとても減少しています。一小的の一年生50人、今の三歳児が一年生になった時は35人くらいです。将来、もっと子どもを生んで育てられる政策を考えてほしい。</p>	<p>出生率低下の原因については、未婚化、晩婚化が原因であるといわれ、国においてもエンゼルプランや新エンゼルプランで少子化対策が進められてきました。少子化は次世代の年金・医療費負担、若年労働力の減少など、社会保障や経済活動に与える影響が懸念され、子育てしやすい環境づくりを推進していくことが重要だと考えております。そこで、本市も次世代育成対策推進法に基づき、平成17年度から21年度までの実行計画である「第2次子どもプラン武蔵野」を策定し、実施しております。市が取り組むべき具体的施策としては、①保育園を含む乳幼児期の子育て支援の充実、②全児童対策としての地域子ども館「あそべえ」、放課後児童対策の学童クラブなどの充実、③子育てSOS支援センターの充実等多様な子育て支援策を実施していきます。</p>	<p>「第二次子どもプラン武蔵野」に基づく本市の子育て支援施策は、計画最終年度である今年度までの5年間で、様々な施策を実施してきました。</p> <p>平成22年度から始まる「第三次子どもプラン武蔵野」においても、子ども家庭支援センターの設置、登録制による子育てステーション制度の導入、保育園入所待機児童解消、認可保育園における保育の質の維持・向上、学びの基盤づくりなどを重点的な取り組みとして、多様な子育て支援施策を実現するために、積極的に取り組んでいく予定です。</p> <p>なお、本市の合計特殊出生率は、平成17年の0.77から最新平成20年には0.90まで回復しており、今後も引き続き、様々な形で子育て家庭を支援していきたいと考えています。</p>
	<p>育児助成金や医療費補助について、武蔵野市は潤沢な財源を持っているのだから、もっと拡充すべき。子育て真っ只中の家庭の、なんと住みにくいことか。</p>	<p>本市の子育て施策は、他市と比べて見劣りするものではないと考えています。児童のいる家庭に対しては、従来から国や都の制度に市が一部市費を上乗せ負担する補助・助成制度として優遇策がとられています。乳幼児医療の助成については、平成17年10月から未就学児の全てについて所得制限を撤廃いたしました。また、このほか他市にはない様々の子育て支援策を実施しています。家庭で保育している親と0～3歳児のための0123施設、子どもテンミリオンハウス、産後支援ヘルパー事業など乳幼児のための施策や児童虐待や子育て家庭を支援する「子育てSOS支援センター」の設置など子育てを総合的に支援する施策を推進しています。</p>	<p>国や都の制度への上乗せや市単独の助成制度は、その後も各種優遇策を図っています。乳幼児医療費助成に加え、小・中学生を対象にした義務教育就学児医療費助成制度を平成19年4月から実施し、昨年10月からは本人負担をなくしました。</p> <p>また、私立幼稚園に通園するお子さんの保護者の方への補助として、私立幼稚園入園料補助金を、平成19年4月より10,000円から30,000円に増額、流行性疾患に罹患した後に必要となる登園許可証明書の発行手数料についても、平成20年度から市の全額負担としています。</p> <p>このほか、産後支援ヘルパー事業は平成20年4月より産前支援を追加、出産後の全ての家庭を助産師・保健師が訪問する「こんにちは赤ちゃん事業」も平成19年度より実施しています。</p>
保育園	<p>公立保育園の増加をしてほしい。</p>	<p>平成18年4月時点での待機児童は42名であり、前年と比べて減少しております。新たな公立保育所の設置が必要かどうかは今後検討していきます。</p>	<p>待機児童対策として、平成20年度に認証保育所3カ所、平成21年12月には認可保育所を1カ所新設整備しました。平成22年4月には三鷹駅北口に認証保育所を1カ所新設する予定です。</p> <p>今後も待機児童の動向を検証し、さまざまな主体による待機児童対策を検討します。</p>

分類	ご意見(H18.4.7実施)	報告書(H18.6発行)での市の対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
保育園	<p>保育園に入園させたい方全てが入園の可能性を持てるように。両親共働きに限らず。少子化対策。</p>	<p>保育園は、児童福祉法に基づき、保育に欠ける児童を保育する施設で、定員が限られており、入所基準にしたがって選考しております。少子化対策として、保育園以外の子育て支援の施設は今後検討していきます。</p>	<p>認可保育園については、児童福祉法に基づき、保育に欠ける児童を保育する施設で、定員が限られており、入所基準にしたがって選考しております。現行では定員に対し申請者が非常に多い状況で、希望者すべてが入所できない状況にあります。 待機児童対策として、平成20年度に認証保育所3カ箇所、平成21年12月には認可保育所を1カ所新設整備しました。平成22年4月には三鷹駅北口に認証保育所を1カ所新設する予定です。 今後も待機児童の動向を検証し、さまざまな主体による待機児童対策を検討します。</p>
	<p>公立保育園改革について再考をしていただきたい。保育園は民営化にはしないほしい。</p>	<p>市では、民営化の計画を未だ策定はしておりません。公立保育園の効率化を図りながら必要な子育て施策の充実をめざし、公立保育園改革計画を進めておりますので、その推移を見ながら今後の保育園のあり方を検討していきます。</p>	<p>平成22年度から26年度までの計画として、「第三次子どもプラン武蔵野」の策定を行いました。その中で公立保育園の運営主体の見直しについて重点的取り組みとして取り上げています。 計画では、認可保育園の役割を明確にし、保育の質の維持、向上の取り組みを目指したうえで、認可保育園の効率的な運営を図るために、公立保育園の運営主体の変更を行うとしています。 また、民営化の問題として一般的に言われている、保育の継続性、質の低下、保育士の入れ替わりなどが起こらないような運営主体の変更を計画しています。</p>
学童クラブ	<p>北町こどもクラブの正式な移設を早期に実施していただきたい。学童は、夏休みも子どもたちが一日通う場所なので、広さと設備についてのご配慮いただきたい。また、待機児童解消や夏季休暇時の時間延長も検討してほしい(AM7:30～)。</p>	<p>現在、北町こどもクラブは第四小学校の一部を借り運営している状況ですが、教育委員会とも協議し、夏休み前までに移転できるよう努力していきます。 なお、定数については、移転先の部屋の面積、指導員の確保等も含め、引き続き検討していきます。 また、広さや設備についても十分考慮していきますが、定数を超えての入会は、児童の安全面を考えると難しいため、空きが出るまでお待ちいただきたいと存じます。 長期休業中の開設時間延長については、児童の健全育成という面で長時間クラブに在ることの是非、またニーズ、指導員の体制、他市状況等を勘案しながら検討していきます。</p>	<p>北町こどもクラブ(現四小こどもクラブ)は、平成18年7月に第四小学校内に移転しています。また、平成21年9月には、五小こどもクラブが、西久保コミュニティセンターから第五小学校内に移転しました。 残る境南・本宿・井の頭の各こどもクラブにつきましても、できる限り早期での学校内移転が実現できるよう、引き続き関係機関と協議していきます。</p>

分類	ご意見(H18.4.7実施)	報告書(H18.6発行)での市の対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
学校教育	<p>毎年上昇する真夏の最高気温。第四小の教室のなんと暑いことか。学習どころの場合ではない。保育園も真夏になると、室温36℃、37℃などザラ。子どもたちのために、早急にエアコンを設置してください。</p>	<p>小学校では、暑さ対策として、17年度に普通教室に扇風機を設置しました。平成18年度も引き続き設置します。また、本市全体で環境負荷低減に取り組んでおりますので、屋上緑化、壁面緑化などの自然に調和した方法を中心に研究いたします。</p> <p>保育園では、0歳から2歳児室には、エアコンを設置していますが、3歳以上の保育室には、エアコンに頼らずできるだけ自然な環境の中で涼しさを創り出しながら、子どもたちに暑い時には汗をかく経験をしてもらい、ヒトとして必要な体温調節機能の発達を促すことを目的として「涼環境創出事業」を展開しており、エアコンの設置はしていません。</p>	<p>小・中学校における暑さ対策として、平成17、18年度に普通教室へ扇風機を設置しました。また、屋上へのプランター設置や屋上・テラスの一部芝生化、校庭の一部芝生化など環境に負荷をかけない暑さ対策も併せて実施しております。</p> <p>しかし、近年の気象状況の変化による、いわゆる地球温暖化による平均気温の上昇という問題がありますので、今後、財政状況も踏まえながら、学校施設の空調のあり方については、更に研究していきます。</p> <p>保育園の空調設備については、平成19年度にそれまで設置されていなかった保育室に設置しました。また、これまで実施してきた「涼環境創出事業」を引き続き実施し、空調設備については一定の基準の下で使用しています。</p>
	<p>四小地区には中学が2つになるが、学区制の緩和を希望します。</p>	<p>市内には2つの中学校区をもつ小学校が2校あります。本市では就学校の指定については、それぞれの小学校区を1つの地域と考え、学校、保護者、地域での子育てを目指しています。一方で、個々の事情、状況については、個別に弾力的な運用を行っていますが、今後は他自治体の動向や本市の状況を踏まえた研究は行ってまいりたいと考えております。</p>	<p>本市は、保護者や地域の方々の学校教育に対する関心は高く、学校運営にも協力的です。このような背景もあり、子どもたちを学校だけではなく、地域の中で育てていくという視点から学区制をとっています。</p> <p>市内には2つの中学校区をもつ小学校が2校(第四小、境南小)あります。市では就学校の指定については、それぞれの学校区を1つの地域と考え、学校、保護者、地域での子育てを目指しています。一方、個々の事情・状況を踏まえ、一定の事由において弾力的な運用を行っています。</p> <p>今後も、他自治体の動向や本市の状況を踏まえた研究や、引き続き、個別に弾力的な運用を行ってまいります。現在の学区制を継続し、地域と一体となった学校づくりを進めていきます。</p>
	<p>小学校普通級に通う、障害児のサポートの先生は、武蔵野市はいつになったらつくのでしょうか？</p>	<p>通常学級に在籍する軽度発達障害の児童・生徒への具体的な支援のあり方については、今後検討を深めてまいります。</p>	<p>平成19年度より、主に対人関係を築いていくことが困難な児童・生徒に対して、心理学を専攻する大学生、大学院生を派遣するサポートスタッフ制度を始めました。</p>
	<p>教育委員会の支援センターは、なかなか空きがなく予約がとれません。障害児だからこそ利用したいのに、こんなに多くの利用者がいるのに、どうして対策を考えないのか不思議です。</p>	<p>保護者や市民の方からの相談予約の改善に向けて、今後具体的な対応策を検討してまいります。</p>	<p>教育支援センターでは、相談員の増員や相談時間の延長など相談体制の充実を図り、相談予約の改善に努めてまいりました。</p> <p>また、各小中学校に教育支援センター相談員を派遣し、学校における相談体制も整備しています。</p>

分類	ご意見(H18.4.7実施)	報告書(H18.6発行)での市の対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
学校教育	<p>若い人も転入したくなるように、もう少し子どもたちのことにもお金を使って、良い町にしていだけませんか？給食、夏の暑い教室、中学生の体格を考えた少人数クラス(教室は余っています)、どうお考えなのでしょうか？</p>	<p>中学校給食については、今年度中に保護者や市民の代表を交えた検討委員会を設置し検討し、平成18年度を初年度とした中学校給食実施計画づくりを目指します。どのような形で行われるという点も、その検討結果をもとに判断することになります。</p> <p>暑さ対策としては、昨年度に普通教室に扇風機を設置しました。</p> <p>教育については、個に応じたきめ細かな指導を一層充実するために、少人数指導を進めており、学校ではそのための教室も確保して取り組んでいます。今年度も引き続き少人数指導で利用する教室に設置いたします。</p>	<p>中学校給食については、平成22年度からは全小中学校で学校給食が実現します。</p> <p>暑さ対策としては、近年の気象状況の変化による、いわゆる地球温暖化による平均気温の上昇という問題がありますので、今後、財政状況も踏まえながら、学校施設の空調のあり方については、更に研究してまいりたいと考えています。</p> <p>また、少人数教育については、市のできる範囲の中で、個に応じたきめ細かな指導を一層充実するために、少人数指導の充実に努めており、学校ではそのための教室も確保して取り組んでいます。今年度も引き続き少人数指導を充実させていきます。</p>
	<p>食育についてお考えをお聞かせください。</p>	<p>子どもの孤食やバラバラ食など、食の乱れによる発達への影響が指摘されています。このことは重要な課題であると認識しています。</p> <p>平成15年度から家庭における子どもの食環境をみんなで考えるための啓発事業として「家族で手作り・楽しい食卓キャンペーン」を実施しています。市民みんなで子どもの食を考える息の長い啓発活動として推進します。</p> <p>小学生の食育については、セカンドスクールなどにおける生産体験や家庭科をはじめとした各教科の中で食について学ぶ機会を持っています。中でも、直接、食に接する給食指導の中で、給食課を中心に栄養士・調理員による栄養指導、日本の食文化を伝える給食献立の提供、給食食材の生産地紹介など積極的に取り組んでおります。こうした取り組みについて、今後は家庭との連携も視野に入れ、充実していきたいと思っております。</p> <p>また、すべての年代においてそれぞれの食育があると考えられます。保健推進課では、心身の健康の保持・増進のために食べ物を上手に選択、組み合わせられる力を育てるものとして、子育て世代向けと、生活習慣の改善に関する健康教育を中心に事業を行っています。</p>	<p>これまでの活動に加え、全市的につながりをもたせて食育を推進していくために食育計画策定を進めていく予定です。平成22年度にはその準備として、アンケートや食育事業についての整理等を、各関係部署が協議のうえ行っていきます。</p>
中学校給食	<p>中学校給食の速やかな実施をお願いします。補正予算で可能なのでしょうか。</p> <p>中学校給食を早くやってほしいです。やります！と宣言した以上はお願いします。</p>	<p>今年度に保護者や市民の代表を交えた検討委員会を設置し検討し、平成19年度を初年度とした中学校給食実施計画づくりを目指します。</p> <p>どのような形で行われるという点も、その検討結果をもとに判断することになります。</p>	<p>今年1月に六中で給食が始まり、現在5校で実施しています。4月には四中でも開始し、全6校で実施しています。なお、1月現在の給食選択率は92.3%です。</p>

分類	ご意見(H18.4.7実施)	報告書(H18.6発行)での市の対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
青少年教育	<p>あそべえと学童が隣り合わせはおかしい。 あそべえより児童館を！ 中高生専用の場所が欲しい。</p>	<p>地域子ども館あそべえ事業は、全児童対策の視点から実施しており、小学生の放課後や土曜日等の安全な居場所として全12校に設置しています。学童クラブ事業とは目的が異なる事業であります。あそべえは、その学区の小学生であれば、私立や国立の小学校の児童も参加できる自由来所型です。学校のような日々のカリキュラムはありません。自分で遊びを見つけられるようにしたり、異年齢児童が交流する手助けをし、安全な遊びに目配りをするため館長・スタッフを配置しています。 また、学童入所児童もあそべえを利用したり、あそべえに来る児童とも遊んでおり、隣り合わせで不都合はありません。小学校児童に対しては、あそべえにより放課後、あるいは土曜日の遊び等の場を提供することができており、新たに地域ごとに児童館を設置する予定はありません。また、中高生専用の居場所についても新設する予定はありませんが、今後武蔵境南口のに建設予定の武蔵野プレイス(仮称)において、多目的スタジオ等を設け、中高生の居場所としての機能を持たせる予定です。</p>	<p>平成22年2月に策定した「第三次子どもプラン 武蔵野」の重点的取組として(1)「地域子ども館 あそべえと学童クラブの連携の推進と運営主体の一体化についての研究」及び(2)「西部地域の子育て支援施設の再編」を掲げました。</p> <p>(1)については、①両施設の活発な交流、②両施設の職員による合同研修の実施、③両施設の連携の強化・機能充実のため、運営主体の一体化、市の財政援助出資団体への委託、委託に伴う職員の法人正規職員化などに関する研究、等について取り組んでいきます。また、子ども人口が減少していく中、子どもの育ちのためには、多くの子どもと交流を図ることのできる環境づくりについて検討する必要があります。学童クラブの保育プログラムで定められた以外の時間については、あそべえと交流できる時間を拡充する、交流イベントを実施するなど、活発な交流を図っていきます。 これらのことから、両事業の隣り合わせの環境に、不都合はないと考えています。</p> <p>(2)については、①桜堤児童館の果たしている役割を0123施設、境こども園(仮称)、あそべえ、武蔵野プレイスなどに移すことによる、全市的・発展的な展開の検討、②①の完了後、児童館の0123施設への転用の検討、③武蔵野市子ども協会による児童館の指定管理を検討、等について取り組んでいきます。</p> <p>中高生専用の居場所については、地域における青少年の活動の場を、市民が主体となって提供する取り組みを行い、身近な居場所のあり方を考えることも必要です。地域のボランティアによって管理・運営されているコミュニティセンターは、学習室やスポーツ施設の利用、ロビーでのおしゃべりなど、身近な居場所の役割を担っています。さらに、放課後の子どもたちの「見守り」や異世代間の交流の場としても期待されます。</p> <p>また、武蔵境南口駅前に平成23年7月開館の「ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス」は①情報交換、提供機能、②講習・ワークショップなどの開催、③相談業務(軽微なもの)、などの機能を有する予定であり、青少年が有効に活用できるスペースの提供について検討を進めています。</p>

分類	ご意見(H18.4.7実施)	報告書(H18.6発行)での市の対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
青少年教育	<p>青少年施設など、市外からの利用者、市内利用者のあり方、偏りなど知りたい。いたずらに施設設備を増やすのはどうか。しっかりした計画をほしい。</p>	<p>現在市内に青少年に特化した施設はありません。青少年の方々には図書館、体育館、コミュニティセンターをはじめ、様々な市内公共施設をご利用いただきたいと存じます。なお、今後武蔵境南口のに建設予定の武蔵野プレイス(仮称)において、多目的スタジオ等を設け、中高生の居場所としての機能を持たせる予定です。なお、桜堤児童館の市外の利用者は約25%です。施設の新たな設置につきましては、市の長期計画の中で検討し、計画に位置づけた上で整備しています。</p>	<p>平成20年度における桜堤児童館の市外の利用者の割合は約23%でした。武蔵境南口駅前に平成23年7月開館の「ひとまち・情報創造館 武蔵野プレイス」においても、青少年が有効に活用できるスペースの提供について検討を進めています。現在、市全体の公共施設配置のあり方について全庁的に検討しており、第五期基本構想・長期計画においても議論していく予定です。</p>
環境対策	<p>有料ごみ袋は、視覚障害者にも使えるように切れ目を触ってわかるようにしていただきたい。また、現在の袋には使えなくなった白杖が入らないので以前のように45リットルの袋を作ってもらうことはできないか。</p>	<p>有料ごみ袋は、袋の強度について配慮しながら、切り離し箇所をわかりやすくするなど、より使い勝手のよいものにしていくよう研究していきます。白杖については、一定の長さがありますので、粗大ごみとしてお出しいただくようお願いいたします。なお、有料ごみ袋の容量については、有料化にあたり事前に実施いたしましたアンケート調査の結果などを踏まえ設定しておりますし、販売店の陳列場所等の問題もありますので現状では変更は考えておりません。</p>	<p>従来の有料ごみ袋に比べ切れ目をわかりやすくし、また、袋の原材料である資源を節約するため、袋の切れ目部分のデザインについて見直しを行いました。長い棒状のものは、袋に半分以上入るようにして排出されるようお願いしています。白杖は比較的長めのものが多いようですので、指定袋に半分以上入れることは難しいため、粗大ごみとしてお出しいただくようお願いしています。袋のサイズの見直しについても、現在のところ特に変更の予定はありません。</p>
	<p>夏場のヒートアイランド対策として保水性舗装をして欲しい。テレビで見て路面温度が10℃以上低いそうです。</p>	<p>保水性舗装については、他市の事例等を参考に、今後研究・検討してまいります。</p>	<p>ヒートアイランド現象緩和のため、平成21年度より遮熱性舗装の試験施工に取り組んでいます。遮熱性舗装は、舗装面で10℃以上、地表面から1.5mで約1℃の温度低減が見込まれます。</p>
防犯	<p>防犯パトロールの強化をお願いしたい。</p>	<p>市民安全パトロール隊を増員していきます。</p>	<p>平成22年4月現在、ホワイトイーグルによるパトロールは車両を2台から3台へ増車し、人員も2名増員して計6名態勢に充実いたしました。また土曜日の運用も開始いたしました。市民安全パトロール隊は、平成18年6月時点の61人から平成22年4月現在では68人態勢へとさらに充実いたしました。</p>
防災	<p>青葉公園、第四小学校の貯留層はいつ頃から実施するのですか。落成予定は。</p>	<p>青葉公園は、7月上旬に着工して8月上旬の完成を、また、第四小学校は夏休み期間中(7月21日～8月31日)の施工に向けて現在準備を進めています。</p>	<p>平成18年度は、第四小学校に500t、青葉公園に200tの貯留浸透施設の設置を完了しました。</p>

分類	ご意見(H18.4.7実施)	報告書(H18.6発行)での市の対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
防災	対水害プロジェクトの途中経過を是非説明して欲しい。	地形、土地利用及び下水道の状況等を把握し、浸水被害の発生要因、浸水対策の方針、浸水対策の目標を定める検討をおこなっています。 尚、5月16日に『北町浸水をなくす会』の方と意見交換をする予定になっています。	「都市水害を考える会」の依頼を受け、平成20年12月、平成21年12月に北町コミセンにおいて周辺住民を対象に経過報告会を実施しています。 直近の経過報告会においては、平成21年3月に策定した「下水道総合計画」及び周辺地域で実施した具体的な対策について説明しました。また、今後予定されている合流改善事業(法政跡地、約10,000t)について説明しました。
生涯学習・スポーツ	①市のスポーツ教室のうち、プチテニスの場合、市の教室が終了後フォローがほしい。親善大会・講習会の開設(中級クラス)など ②卓球教室(現在1中にて実施)の継続。(中止の声を聞くので)	①プチテニスは市の体育指導委員が考案したものです。今後ニュースポーツ大会などでの実施を検討したいと思います。 ②スポーツ教室は、一定の種目に固定することなく、今後さまざまな種目を取り入れてまいりたいと考えています。	各種スポーツ教室等では、市民ニーズを考慮しながら、様々な種目を取り入れており、プチテニスについても、市民ニーズの動向を見ながら検討したいと思います。 卓球教室については、生涯学習振興事業団の事業として実施しています。
武蔵野プレイス	武蔵野プレイスは、二重投資になりますので中止すべきではないでしょうか。 武蔵野プレイスの見直しはあるのか。市の財政の面からも必要では。 農水省跡地(誰が反対したのか?) 武蔵野プレイスは地上3階地下2階で、13億円の削減でよいではないですか	農水省跡地には、現在まで市議会や跡地計画に関する策定委員会で議論してきたとおり、図書館機能を中心とする知的創造拠点として武蔵野プレイス(仮称)を建設していく予定です。	その後、平成18年度から平成19年度にかけて「武蔵野プレイス(仮称)専門家会議」を設置し、基本設計に立ち戻って、評価、検証を行いました。当会議の最終報告書を踏まえた「基本設計(修正版)」を作成した後、実施設計、工事入札を実施し平成20年1月に着工しております。 「図書館」をはじめとした「生涯学習」「青少年活動支援」「市民活動支援」の4つの機能を融合させた、地域社会(まち)の活性化を深められるような活動支援型の公共施設を目指して、正式名称も「ひと・まち・情報創造館 武蔵野プレイス」に決定し、平成23年7月にオープンする予定です。
	(武蔵野プレイスの実施で) 1日100万円のむだづかいを決してゆるせない。 市民をばかにしているのです	維持管理費については、削減できる部分は削減し、効率的、効果的な運営を目指していきます。	開館に向け業務が具体化する中、継続して削減できる部分は削減し、効率的、効果的な運営を目指していきます。

分類	ご意見(H18.4.7実施)	報告書(H18.6発行)での市の対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
水害対策	<p>各戸、各施設の防水対策により、昨年より外に溢れる水量(5～600t)に対して、今年の浸透施設の大きさは十分と思われませんが・・・(昨年並みの降雨の場合)</p>	<p>昨年9月4日の集中豪雨(時間最大雨量95.5mm)では、甚大な浸水被害が発生しました。これまで、本市は1時間当たり50mmまでの雨量を処理できるように下水道を計画し、整備を進めてまいりました。規模の大きな施設の整備を進めるには、長い年月と多大な費用がかかります。よって、今年度の事業については、浸水被害が大きかった北町地区に、浸水対策の一環としての貯留浸透施設を設置するものです。</p>	<p>平成18年度は、第四小学校に500t、青葉公園に200tの貯留浸透施設の設置を完了しました。また、平成23年度までに市内公立小中学校に貯留浸透施設を設置していきます。</p>
	<p>水害のシミュレーションから得たデータを基に地域の水害対策の強化をして下さい。個人などでする対策も身近にできそうなことや、市のほうでやらなければ(やっていただかなければ)ならないことの早急な対応をお願いします。今年の雨季に間に合うようになることを強く希望します。</p>	<p>今年度は緊急対策といたしまして、多くの被害が起きた吉祥寺北町地区内の青葉公園、市立第四小学校をはじめとして、市内の公共施設から雨水貯留浸透施設を設置していきます。ソフト面では、各個人の対策として、土のうや止水板などの準備、家の周囲の排水口などの点検をお願いしたいと存じます。市としては、浸水情報の収集と提供、固定系無線による大雨警報時における市内一斉放送の実施、緊急初動態勢の構築、浸水危険区域マップの作成などを行ってまいります。</p>	<p>平成18年度は第四小学校に500t、青葉公園に200tの貯留浸透施設の設置を完了しました。また、平成23年度までに市内公立小中学校に貯留浸透施設を設置していきます。ソフト面では、各個人の対策として土のうや止水板などの準備、家の周囲の排水口などの点検をお願いしています。市としては、浸水情報の収集と提供、固定系無線による大雨警報時における市内一斉放送の実施、緊急初動態勢の構築、浸水予想区域図の作成・配布などを引き続き行っていきます。</p>
	<p>保育園に地下貯水槽の設置をお願いします。</p>	<p>昭和63年度、北町保育園園庭内に370トンの貯留槽を設置しました。一定の水位に達するとポンプが作動し貯留槽内の水を下水道管に圧送し、浸水被害の軽減に努めております。</p>	<p>現在設置してある地下貯留槽においては、ポンプ設備も含め維持点検を適正に行い、災害に備えています。また、大型の貯留槽の設置については、今後も研究を進めていきます。</p>
	<p>私は、水害のあった地域、都内8河川の流域を6ヶ月かけて廻りました。下水道がつまるもう一つの原因として小学校における子女への教育(トイレに紙以外を流さないしつけ)が必要と痛感しております。杉並区で被災地の下水管を改善する為、開けたところ「ぺたぺた貼りついて沢山ナプキンが流れていて恥ずかかった」という女性の話があったからです。</p>	<p>早くから下水道整備を進めた地域では、合流式下水道(汚水、雨水も同一の管)を採用したため、雨が一定量を超えると河川に放流する仕組みになっています。雨が上がり河川の水量が減少すると、水生植物等にごみ(きょう雑物)が付着し公共水域の環境を悪くしているため、昨年度よりごみ除去装置を設置して環境の保全対策を図っています。また、トイレの適正な使用については、学校で身につける社会生活上のマナーのひとつとして取り上げてまいります。</p>	<p>水環境の保全のため、平成17年度より合流式下水道の改善を行っています。平成21年度までには、ごみ(きょう雑物)を除去する装置の設置を完了します。今後は雨天時に未処理で放流される下水を一時的に貯めておく貯留槽を整備し、公共水域の水質改善に努めます。学校は集団生活におけるルールやマナー等を学ぶ場でもありますので、日常の学校生活において、トイレ等、学校内の施設の適正な使用について今後も引き続き指導していきます。</p>

分類	ご意見(H18.4.7実施)	報告書(H18.6発行)での市の対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
都市景観	<p>三鷹駅南口に21階建てのマンションビルが出来るようですが、武蔵野市では、その様な、高層ビルは排除、許可しないていただきたいと思っています。風害、治安、景観等、不安です。</p>	<p>高さを抑えることを第一と考えるのか、一定の高さを認めつつオープンスペースを広く確保させるのか等、現在検討中のまちづくり条例の検討の中でも議論していく課題の一つと思っています。</p>	<p>今のところ、全市的に絶対的な建物高さの制限はありませんが、現在、都市マスタープラン改定の中で高さ制限導入について検討が進められています。 その他、地域の同意などを得て地域のルールとして高さ制限を定めることも考えられます。これらの地域ごとのルール作りについては、その地域にお住まいの皆さんの発意によって定めることができる地区まちづくり計画や地区計画提案の手続きについて、まちづくり条例の中で位置づけております。</p>
バリアフリー	<p>道路の段差をなくしてください。</p>	<p>武蔵野市交通バリアフリー基本構想に沿い、駅などを中心にしたと徒歩圏区域を重点整備地区として、優先的に段差解消を進めています。更に、状況に応じてバリアフリーに努めてまいります。</p>	<p>平成19年度と20年度に、三鷹駅付近の中町新道のバリアフリー化(段差解消)工事を行いました。平成21年度と22年度でかたらいの道の地中化とバリアフリー化(歩車道分離)工事を行っています。</p>
駅周辺整備	<p>街の活性化について。三越・大塚家具などの撤退はさびしい。思い止まらせる市としての施策はないのか。</p>	<p>好調な収益を上げている事業者でも、ビル所有者の意向等により撤退を余儀なくさせられているケースもあるなど、吉祥寺での良好な収益を想定した、投資的活動が活発化しつつあります。 市としては、街全体の魅力を高めることにより、新しい優良事業者が進出するよう、今後とも、関係者と協力し活性化を進めていくとともに、民間事業者の動向にも注視していきます。</p>	<p>平成22年3月に吉祥寺の発展の一翼を担ってきた伊勢丹が撤退しましたが、吉祥寺のブランド力(品格)・集客力を維持・向上させていくための核として、吉祥寺を愛し、まちづくりに貢献していただけるテナントを誘致するよう、事業者である三菱商事都市開発株式会社と交渉を進めています。世代を超えて支持され、永く商店街とともに上質な買物環境を形成するような吉祥寺にふさわしい商業ランドマークとして、平成22年10月頃オープン予定です。</p> <p>また現在、吉祥寺では駅改良事業・南北自由通路整備、吉祥寺ロンロンのリニューアルオープン準備、自転車駐車場の整備、市民や来街者に喜ばれる都市観光の推進など様々な施策が進んでいます。 今後とも吉祥寺が商業的に高い地位を維持できるよう、地元の事業者、企業、地域住民の皆様など、地域にかかわる関係主体と一体となって、魅力あふれる吉祥寺の創造に努めていきます。</p> <p>吉祥寺活性化事業としましては、駅周辺の活性化のためにイルミネーション補助事業のほか、平成22年度から「進化するまち NEXT-吉祥寺」という集客向上のための活性化事業を実施しています。 また、建物建替えのための信用保証料補助事業の創設などを行い、民間投資が活発に行われるように街の魅力の向上に資する施策を実施しています。</p>

分類	ご意見(H18.4.7実施)	報告書(H18.6発行)での市の対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
駅周辺整備	吉祥寺駅周辺の駐車場対策として、ハモニカ横丁を立体化してください。	ハモニカ横丁は、多くの個人事業者の集合体であり、土地利用等について検討する場合にも合意形成が必要です。そのため現時点では、ハモニカ横丁の立体化による駐車対策を早急に実施するのは困難と思われます。なお、駐車対策については、今後とも必要な施策を推進していきます。	吉祥寺駅前マーケット(ハモニカ横丁)は、古いマーケットの雰囲気をとどめ、最近では新たな店舗も入るなど吉祥寺を代表するスポットの1つである反面、防災上の危険が懸念される地区であるため、今後、吉祥寺のまちづくり全体から、これらの課題解決に向け、まちづくりのあり方から検討を進めていくことが必要と考えています。 自動車駐車場は吉祥寺における自転車駐車場、荷捌き、タクシーなどの交通問題についても、その課題解決に向け、着実に推進していきます。
	駐停車対策について。土・日・休日における吉祥寺駅周辺のガードマンの人数を削減し、効率的に配置できないか。また、6月以降、駐車違反を外部委託した場合には、ガードマンの配置を考えた方がいいか。	違法駐車対策事業におけるガードマンの人数は、現在、24人体制で行っており、配置等については、適正と考えております。また、民間委託による駐車監視員は、警視庁の委託権限であり、かつ、本市は6月時点で、その区域の対象となっておりません。しかしながら、近い将来、本市においても民間委託の駐車確認が実施されることを見越して、ご指摘のガードマンの配置及び職務内容などの見直しを検討してまいります。	平成21年4月1日より、放置車両確認事務の民間委託地域が東京都内全域に拡大され、警察官以外に放置車両確認機関から選任された駐車監視員による放置車両の確認及び商標の取付けを行う活動が開始されました。この活動開始に伴い、本市で実施してきた違法駐車防止指導事業を解消し、同日付けで違法駐車防止交通指導員の業務委託を取りやめ、駐車対策本部を廃止しました。
道路	歩道上の看板や電柱等、すべて撤去。	3駅周辺の道路を中心に、電柱類の地下化整備を進めているところですが、今後も、より一層の整備に向け推進してまいります。また、違法性のある看板類は今後も関係機関と連携とり撤去していきます。	今後は、中長期的な財政見通しとの整合を図りながら、平成21年度に策定した「景観整備路線事業計画」に基づき電線類地中化整備していきます。また、違法性のある看板類は今後も関係機関と連携とり撤去していきます。
	車椅子が通れる歩道を。残りを車道に。(中央コミセン前の道路の様に)	交通バリアフリー計画に基づき3駅周辺の重点整備地区を中心に段差の解消や歩車分離の検討、電線類の地中化など検討しバリアフリー化を推進してまいります。	平成18年度から3年間をかけて吉祥寺駅付近の末広通りを、地中化と歩車道分離の整備を行いました。平成19年度と20年度は三鷹駅付近の地中化済の中町新道を、段差解消の整備を行いました。平成21年度と22年度でかたらいの道の地中化とバリアフリー化(歩車道分離)工事を行っています。
ムーバス	北西ムーバス。1時間に1本でよいから、市役所まで運行してください。または、成蹊通りで乗り換えできる関東バスの停留所を作ってください。	中央通りの渋滞などもあり、市役所までくと定時制の確保が得られないことや、一般の路線バスと重複すること、交通不便地域でないことなどを考慮し、現在では、ムーバス北西循環の市役所経由の運行は難しいと考えています。また、成蹊通りと一般路線との乗り継ぎについてのご要望は、当該バス会社に伝えておきます。	市役所経由となると、路線延長、所要時間が増大し、定時制の確保が得られないことや一般の路線バスと重複することなどを考慮し、交通不便地域ではない市役所を経由する運行は難しいと考えています。 成蹊通りと一般路線との乗り継ぎについてのご要望は、引き続き、当該バス会社に伝えてます。

分類	ご意見(H18.4.7実施)	報告書(H18.6発行)での市の対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
自転車	駐輪関係の条例は現在あるが、事故防止のため歩道上を疾走する自転車を規制する条例の制定を早急にお願いしたい。	既存の条例の改正を含め、警察署等関係機関と協力し、検討してまいります。	暴走自転車等の問題については、正しい自転車のルールを知らない、あるいは知っているも守っていないために起っている現象です。そこで、「自転車のルールがどうなっているのか」「なぜそのルールが設けられているのか」に重点を置いた対策が最も有効な方法であると考えております。そのため市では、武蔵野警察と共催で定期的に自転車安全利用講習会を開催し、正しい自転車のルールの周知に努めております。これまでに公募型、出前型などの講習を行い、4,000名を超える方が参加し、正しい知識を身につけております。市内の自転車関連の事故もここ数年減少傾向であり、その効果は徐々に現れていると思います。
	自転車置き場を増やしてください。	現在、特に三鷹駅、吉祥寺駅周辺の駐輪場が不足しており、その周辺の空き用地等、駐輪場の可能性のある土地については、借りるとか購入するとかして、積極的に駐輪場用地として利用したいと考えております。また、既存駐輪場の立体利用も検討してまいります。	平成22年4月より、吉祥寺大通り沿いに収容台数約1,270台の「吉祥寺パーキングプラザ公共自転車駐車場」が開設しました。また三鷹駅周辺では、武蔵野タワーズ北棟の地下に収容台数1,500台の「武蔵野タワーズ地下公共自転車駐車場」が開設しました。
	駐輪場がいつもいっぱいなので、駅前近くに増やしてほしいです。		
上下水道	細く古い上水道管を早期に取替え、ライフスタイルの変化に追いつかせてほしい。	耐震性の劣る経年鑄鉄管や小口径管の改良工事、配水管未整備地域を解消するための新設工事を、住民要望等を考慮しながら、毎年計画的に実施しています。	平成18年度から平成21年度末までの4か年で、耐震管による経年配水管の布設替え及び新設工事の施工延長は約37km、配水管総延長の約13%を更新しました。平成21年度末の耐震化率は平成18年4月より12ポイント増の37%となります。
情報	市議会の様子を知りたい。(たとえば、市長の考えに反対している市議会議員の意見など)	図書館、コミュニティセンター、市役所市政資料コーナーなど、またはインターネットにて会議録を公開しています。	平成18年9月から本会議の全部と予算・決算特別委員会の模様を生中継と録画で視聴できるようになりました。また、ラジオでも施政方針と代表質問は生中継をしています。また新たに、平成22年2月開催分のインターネット中継を行っていない委員会の会議録の速報版を委員会開催から概ね1ヶ月でホームページに掲載しています。
	市議会をガラス張りにすべきである。市長と市議の対話(やりとり)を直に見たい。	議員が市長に対して行う一般質問・代表質問をインターネットで生中継しており、代表質問はラジオ・CATVにて録画中継しています。また、本会議や委員会は直接傍聴することができます。	

分類	ご意見(H18.4.7実施)	報告書(H18.6発行)での市の対応方針	その後の進捗状況・特記事項など
健全な財政運営	市職員の給与水準を下げるべきではないか。	職員の給与水準については、民間の動向や都の人事委員会勧告などを参考に、適正化に努めています。	給与水準の見直しについて、技能労務職、一般行政職とも給料表の引き下げや各種手当の見直しを行い、民間や他団体との均衡を踏まえた水準、職務職責に応じた給与制度となるよう給与制度改革に取り組んでいます。今後もさらなる給与水準の適正化を図ってまいります。
	固定資産税の見直し	固定資産税は地方税法に則って、固定資産の価格、すなわち「適正な時価」を課税標準として課税されるもので、三年毎に評価額を見直す評価替え制度がとられています。土地・家屋については原則、基準年度の価格が3年間据え置かれますが、2年度、3年度において、地価の下落があり、価格を据え置くことが適当でないときは、価格を修正できるようになっています。	地方税法に基づき、平成21年度には、土地・家屋の評価替えを実施しました。
	市からの通知文書の総点検を。 (1)今年の固定資産税額通知のどこにも土地の評価額の見直しや従来の減税措置の廃止が触れていない。 (2)国保税の説明どおりでは計算が合わず、電話しても翌日まで回答いただけなかった。	固定資産の評価替については、課税明細書の裏面に表示してありますが、記載方法等さらに検討してまいります。なお、地方税法の改正があった場合には、市報、税のチラシ等を通して周知してまいります。 国民健康保険税については、市民税所得割額を基準に世帯で課税しています。また、市民税は転入・転出がありましても通常1年間の税額に変更はありませんが、国保税はそのつど変更になります。そのため、一人一人の税額を算出するには、時間がかかる場合もありますが、翌日までに回答できなかったことは、誠に申し訳ありませんでした。今後は、できるだけ早く回答いたします。	固定資産の評価替えについては、従来より課税明細書の裏面に表示しています。平成19年度より納税通知書の裏面にも表示し、平成21年評価替えの際には市報(4/15号)で周知を行いました。また、窓口等で配布している「固定資産税のしおり」でも評価替えについて説明しています。 減税措置の廃止については納税義務者あてに通知する課税明細書に軽減の有無等を表示しています。 国民健康保険に関する問い合わせについては、即日回答に努めます。回答に時間を要する場合には、その旨連絡のうえ、回答日時を伝えています。
	武蔵野市が所有している土地はどれだけありますか。その使用目的は何ですか。不用な土地はありませんか。	未利用地は、現在市内に16カ所6,132㎡あります。これらの土地は、たとえば高齢者施設や公園など将来の行政目的に備えるため、あるいは道路等都市計画に該当し、立ち退きが必要となった方に対する代替用地として保有しているものです。	未利用地は、現在市内に23カ所7,354.57㎡あります。 平成22年度は、吉祥寺の保有土地に荷捌き施設、駐輪場の整備を予定しており、未利用地の解消を行っております。道路用地などの土地買収の際の代替用地や、将来の行政需要に備えて、今後も一定の用地の確保は行う必要があると考えています。
	財政について、ランニングコストのかかるものは今後も真剣に考えてほしい。	暫施設の維持管理経費については、指定管理者制度の導入など、削減に努めてまいります。	行政改革の一環として、平成21年度には市民保養施設の「富士高原ファミリーロッジ」を廃止しました。今後も事務事業の見直しを行うとともに、既存施設の維持管理については、指定管理者制度の導入などを行い、削減に努めてまいります。

第29回 市民と市長の タウンミーティング

市民の皆様と市長が意見交換を行います。
お気軽にご参加いただき、あなたの声をお聞かせください。

主
役
は
市
民
で
す

- テーマ ① 災害に強いまちづくり
② これからも住み続けるために 吉祥寺北町

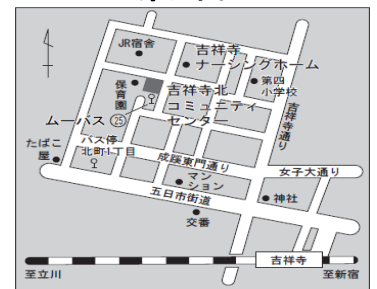
- 期 日 平成22年2月11日(木・祝)

- 時 間 午後1時30分～4時

- 会 場 吉祥寺北コミュニティセンター

- 主 催 吉祥寺北コミュニティ協議会
武蔵野市

<案内図>



◆ 申 込 当日、直接会場へお越しください。

◆ 出席者 市民の皆様、市長、市関連部長

◆ 備 考 お車でのご来場はご遠慮ください。

問い合わせ◎武蔵野市 企画政策室 市民協働推進課
TEL. 0422-60-1829 FAX. 0422-51-2000

第29回 市民と市長のタウンミーティング

災害に強いまちづくり

水害対策について

地域防災力の向上

これからも住み続けるために 吉祥寺北町

子どもも、お年寄りも、安全に安心して
暮らせるまちづくり

当日参加できない方で、上記のことについて、市長にご意見・ご要望のある方は、下記枠内にお書きになり、市役所（2階）市民協働推進課、または各市政センターにお届けいただくか、FAXで市民協働推進課(0422-51-2000)にお送りください。

第29回

地域別 吉祥寺北町
市民と市長のタウンミーティング
報告書

発行 平成22年4月
武蔵野市 企画政策室 市民協働推進課
武蔵野市緑町2丁目2番28号
電話(0422)60-1829 (直通)